

カール・シャウプコレクションの内容と史料的意义

——シャウプ使節団成立と活動の経緯を中心に——

松 元 宏 ・ 佐々木 哲 也

目 次

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1.はじめに | 5.使節団結成経緯の一断面 |
| 2.カール・シャウプコレクションの概要 | ——「モスーファイル」より—— |
| 3.シャウプ使節団の関連資料群 | 6.「勸告書」の作成過程 |
| 4.「使節団書簡類」の特徴 | ——「マッカーサーファイル」より—— |
| (Shoup Tax Mission Correspondence) | 7.おわりに |
| | 8.補遺 |

1. はじめに

カール・シャウプコレクションは、横浜国立大学附属図書館が所蔵する米国の財政学者カール・シャウプ博士旧蔵の書籍・雑誌・文書類の総称である。

カール・シャウプ (Carl Sumner Shoup) は、1902年米国カリフォルニア州サンノゼに生れ、1924年スタンフォード大学卒業後1928年コロンビア大学経済学部の助教授に就任、財政学・税制の研究を専攻し1930年コロンビア大学で学位を得、1945年同大学教授に昇進した。学術的主著には“*Public Finance*” 1969年(塩崎潤監訳『財政学』1970年有斐閣)がある。行政との関係ではニューヨーク州特別税制調査委員会委員、財務長官補佐官、財務省顧問・調査官、大統領経済諮問委員会委員など1930年代から戦後へかけて中央・地方各政府の財務・税務、税制等に精通することになる多くの任務を経験している。とくに、日本、ヴェネズエラ、リベリア等、各国の税制改革はシャウプの業績としてよく知られているが、なかでも戦後日本の税制改革は「シャウプ税制」の呼称で私たちの記憶に打刻されてきた。

本学のシャウプコレクションは、1991年

(平成3年) 高齢で仕事場を引き払ったシャウプ博士から直接に蔵書・資料類一切を横浜国立大学経済学部が入手し、附属図書館に収蔵したものである。入手に際し仲介の労をとられた金子宏氏(当時東京大学教授)によれば、シャウプ博士は引退に当って手持ちの生涯にわたる蔵書・文書類のすべてを日本の機関に一括譲渡することを望まれたという¹⁾。経済学部は入手資金に充てるため富丘経済研究会(当時の会長野村長氏)から奨学寄付金を受け入れた²⁾。米国から送られ横浜港に陸揚げされて大学へ搬入されたシャウプ資料は、大型のダンボール箱409、後送された追加分56を加えて総数465箱であった。次節で述べるように、搬入されたシャウプ資料は、①書籍、②雑誌、③文書類(書籍・雑誌に入らないものを含む…以下同様)の三つの種類に大別され、以後の整理作業や配架・保管等はこれらの類別に従って実施されることになった。

1) 『税のしるべ』第2064号、1992年3月16日記事。

2) 輸入代行書店への購入代支払い総額は13,792,730円。奨学寄付金は13,000,000円。

1991年1月に大学へ搬入されたシャウプ資料のうち①書籍、②雑誌の類別分について整理がほぼ完了したのは、同年12月であった。同じ12月、残された253箱の文書類の整理が着手された。シャウプ博士の書齋で運搬業者が直に箱詰めしたと伝えられるだけに、この③文書類は雑多な書類が入り交じる膨大な量であった。しかし、シャウプコレクションの最もオリジナルで貴重な部分であり、戦後のシャウプ使節団にかかわる資料が存在することも期待されることであった。この段階で経済学部「シャウプ資料整理委員会」が発足し、委員長に松元宏が就いた。翌92年1月に、資料整理担当の専門家として佐々木哲也（麻布大学講師）が依頼された。こうしておおよそ10年位を見込んだ③文書類の整理が始まった。大学院生らのアルバイトによる開箱、点検、整理等はすべて手作業で行い、今後のデータベース化を考慮してパソコンによる整理・目録作成が進められることになった。

2000年（平成12）3月までにシャウプ資料文書類の整理はほぼ終了し、分類・目録が仕上がった。そして同年8月、大小2種類の定型ファイルボックスに収納した文書類が附属図書館に一括配架された。このとき引き継いだ総箱数は484、大きいL箱136個、小さいS箱348個であった。シャウプ整理委員会は任務を完了し、その後の利用閲覧、公開等が図書館によって整備される段階になっている。同じ2000年3月カール・シャウプ博士の死去が報ぜられた。97歳だった。

本稿は、上述のような経過により横浜国立大学に所蔵されたシャウプコレクションについて、この機にその内容を紹介し、整理におおよそ10年を要した文書類、とくに「シャウプ使節団」に関連する資料に焦点をあてて、その史料の意義を検討するものである。今後の新たな研究に寄与できれば幸いである³⁾。

資料整理の過程で要した多額の費用は、学内外から以下のような支援をえた。

- (1) 平成3年度・同4年度学長裁量教育研究特別経費研究費

- (2) 平成5年～同7年度文部省科学研究費補助金

- (3) 平成7年度・同11年度研究助成寄附金
（本行基資氏より）

さらに、この間歴代経済学部長ならびに学部教授会の方々、貿易文献資料センター林紗千子主任（当時）・職員、本学国際経済法研究科の当該専門領域の教官、附属図書館関係職員の方々に多くの御支持と御協力をえたこと、また科研費交付による3年間については、加藤新一氏（当時大蔵省財政金融研究所情報システム部主任調査官）の御参加があったこと、等々を謝意を込めて記す。

2. カール・シャウプコレクションの概要

シャウプコレクションは①書籍、②雑誌、③文書類の3種類に区分されている。

①書籍は、英文の専門書約3千冊、租税理論・租税制度・年金等財政学の文献を中心にマクロ経済学等の経済学関係書を多く含む。これらの文献は、広い学問領域に及ぶとともに、刊行年代が1930年代から1990年代まで長期にわたり、C. シャウプの戦前戦後から現代に至るキャリアをそのまま反映した蔵書としてまとまっている。若干ながら日本との関係を窺わせる和書がまじる。

②雑誌は、同じく英文の定期刊行誌でタイトル数で100ほどに達する。書籍と同様に1930年代から1990年代まで長期にわたっている。

③文書類は、書籍・雑誌等の通常の文献、刊行物とは異なる種々の資料や非書籍類を多く含

3) 「シャウプ使節団」に関わる研究は数多い。さしあたり、林健久「シャウプ勧告と税制改革」（東京大学社会科学研究所編『戦後改革7 経済改革』所収、東京大学出版会、1974年）、大蔵省財政史室編『昭和財政史－終戦から講和まで－7 租税(1)』（東洋経済新報社、1977年）第九章、第十章（石弘光執筆）が大蔵省資料に基づく詳細な研究である。なお当時の時論的記録報告として、共同通信社経済部編『シャウプ勧告と日本経済』（乾元社、1949年）がある。

むシャープコレクションの最もオリジナルで有用な部分である。書簡 (Letter) のようにシャープ自身の整理があるものは限定的で、多くは未整理のまま、それだけに以下にみるように、整理には時間と工夫を要した。

これら文書類の内容は、書簡のほかに、戦前から1980年代後半に及ぶ長期にわたるC. シャープの大学教授・研究者としての収集資料、各種研究レポート、講義案・ノート、論文の抜刷、学会関係資料などと、政府関係の多くの仕事による調査や活動の記録、報告書、官庁部内のパンフレット等とに分けられる。加えて新聞等の資料切抜きがある。C. シャープ自身による手書きやタイプ印字による文書も含まれている。

ファイルの形に整理されている資料だけで2000点を超えるが⁴⁾、未ファイル部分も多く、これら文書類の多様性と不定形性ゆえに、これらの分類・整理方法は予想を超える難作業になった。当初、すべて編年順に整理する案も検討したが、試行錯誤を重ねたうえ、C. シャープの手による整理状態をなるべく崩さず、かつ資料内容による分類を旨とする整理を行った。それでも詳細な内容分類は今後に継続せざるをえなかった。

このようにして大小 (L・S, BOX) 484個の箱に収めた文書類の分類区分と概要は以下の通りである。() 内は箱数。

- 1 シャープ分類の事項ファイル (170)
アルファベット順でA - ADMIN. ~
W - WELFAREまで。
- 2 シャープ分類の表題なしファイル (66)
アルファベット順でA ~ Wまで。
- 3 シャープ分類の非ファイル文書 (63)
アルファベット順でA - A.C.I.R. ~

W - WORKING PAPERまで。

- 4 シャープ分類の国・地域別文書類、ファイル・非ファイルを含む (53)

アルファベット順でA ~ V - VENEZUELAまで。

- 5 シャープ分類のシャープ使節団関係文書類 (12)

MISION CORRESPONDENCE (書簡)・
地方財政委員会関連。

- 6 シャープ論文抜刷 (10)

- 7 その他シャープ関係 (5)

- 8 シャープのレターファイルボックス (10)

- 9 その他書簡類 (3)

- 10 シャープの表題なしハードカバーファイル
リング (22)

- 11 抜刷・パンフレット類 (21)

- 12 その他表題なし文書類 (35)

- 13 その他分類不能の表題なしファイル (7)

- 14 雑・断片資料等 (7)

C. シャープは1928年以来コロンビア大学で教壇に立ち、1971年に同大学を定年退職している。この間、1930年代20世紀基金租税委員会での活動や米国政府の租税政策にかかわる顧問・委員等を務め、なかでも日本税制使節団 (1949~50年)、ヴェネズエラ財政調査 (1958年)、リベリア税制使節団 (1969年) など長としてかかわった。また、全米租税協会会長 (1945~50年)、国際財政学会会長 (1950~53年) など大学・政府・学会等の経歴は豊富である⁵⁾。それに対応した文書類が残されてきたのである。

続く節では日本税制使節団、通称「シャープ使節団」にかかわる資料を中心に分析をすすめる。

4) 各ファイルの中には、さらに複数の子ファイルが収められているものも少なくない。この2,000という概数は、これらを数えていない。

5) カール・シャープの経歴については、C. S. シャープ『シャープの証言』柴田弘文・柴田愛子訳 (税務経理協会、1988年) の「訳者あとがき」を参照した。

るが、この部分がシャウプ文書類の中で最も重要で興味深い内容であると考えている。

シャウプ団長以下構成員は次の7名であった⁶⁾。

- C. S. シャウプ (Carl S. Shoup)
コロンビア大学経済学部教授
- S. S. サリー (Stanley S. Surrey)
カリフォルニア大学法学部教授
- H. R. ボーエン (Howard R. Bowen)
イリノイ大学経済学部准教授
- W. S. ヴィックリー (William S. Vickrey)
コロンビア大学経済学部准教授
- J. B. コーエン (Jerome B. Cohen)
ニューヨーク市立大学経済学部准教授
- W. G. ウォーレン (William G. Warren)
コロンビア大学法学部教授
- R. B. ハットフィールド (Rolland B. Hatfield)
ミネソタ州セントポール収税庁税制調査局長

団長にC. シャウプ教授を推薦し、直接折衝にあたったのはG H Q経済科学局内国歳入課長に就任するハロルド・モス (Harold L. Moss) であった⁷⁾。シャウプ文書類の書簡にシャウプーモス間のものが多い。一例として、1948年9月30日付のH. モス宛C. シャウプ書簡を見ると、使節団に対する報酬について、モスから伝えられたシャウプ団長35ドル/日、団員30ドル/日の手当は少な過ぎると書き、団長50ドル、団員45ドルの額を提示している。また、滞日中の活動は週5日にするとか、シャウプ使節団

の待遇面など従来余り明らかでなかったことがわかり、興味は尽きない。

C. シャウプは1949年(昭和24)5月10日に来日し、使節団一行は精力的な調査活動を行い、同年8月26日勧告概要の説明、同9月15日「シャウプ使節団日本税制報告書」の全文全4巻が発表された。シャウプ使節団は翌50年8月再来日、同年9月「シャウプ使節団第二次日本税制報告書」を発表している。

3. シャウプ使節団の関連資料群

以下では、こうした多様なシャウプコレクションの中から、とくにシャウプ使節団の関連資料群に注目して、使節団の結成経緯およびその活動の解明に接近することを狙いとした。まず、作業の手始めとして、使節団(第1次・第2次)の結成およびその活動に直接関連する年代、すなわち1948～50年前後を中心に資料の選択を試みた。

資料の形態に注目すると、C. シャウプ自身あるいは秘書による整理済みファイル類と、未整理のまま一括されていたファイル類に大きく分けられる。

前者の中では書簡類(Correspondence)が、もっとも整理が行き届いている。これは、数点～数十点のレターやメモランダム類を一括した複数のファイルから構成されたものである。年代的に該当するまとまった書簡類は次の二つであった。

① “CORRESPONDENCE” 45-49”

来日以前(1945～49年)のレター類が在中

② “SHOUP TAX MISSION CORRESPONDENCE” シャウプ使節団関係書簡類(以下「使節団書簡類」と称する)

“CORRESPONDENCE” 45-49”は年代的には該当するが、米国民間航空委員会(Civil Aeronautics Board)や米国民間航空委員会(Civil Aeronautics Board)や米国民間航空委員会(Council of Economic Advisers)あるいはロックフェラー財団関係などが大半で、シャウプ使節団関連の資料は見当たらなかった。一方、「使節団書簡類」は後述するように、まさに使節団の結成お

6) 前掲『昭和財政史—終戦から講和まで—7租税(1)』第10章436・437頁より。なお、シャウプ使節団員の一人、ウィリアム・ヴィックリー(コロンビア大学名誉教授)は1996年ノーベル経済学賞を受賞した。さらに同氏はノーベル賞決定3日後に心臓発作で急逝、82歳。シャウプ使節団当時は36歳であった。

7) 同上書第9章370頁参照。

よび「勧告」作成等のプロセスを知る上で最重要資料といえるものである。

一方、未整理資料の中身は、レター類や冊子等の報告書の断片など雑多なものばかりである。断片資料の整理においては、形態上の分類作業として、GHQやSCAP関連の用紙の特徴にも注目した。

内容別に見てみると、メモランダム類、レポート・報告書類（シャープ使節団作成成分・他機関作成成分）、参考資料（統計資料が中心、日本政府・関連機関作成）、意見書類（日本政府・地方自治体、関連機関、業界代表作成）、世論調査類、新聞切り抜きなどから成り立っていることが分った。以下、各資料群の構成を要約すると、次のようになろう。

A シャープ使節団結成・活動関連

- ①「使節団書簡類」
- ②メモランダム類
- ③レポート類（含日本語資料）

B 個別関連資料群

- ①参考資料群（含日本語資料）
- ②意見書（日本語・英訳とも）
- ③世論調査類
- ④新聞切り抜き

4. 「使節団書簡類」の特徴

(Shoup Tax Mission Correspondence)

「使節団書簡類」の Index - Name は、次の通りである（下線部は筆者による注記）。

《Index - Name》

JAPAN-A

JAPAN-ADDRESSES

JAPAN-ARMY, DEPARTMENT OF:
CORRESPONDENCE

JAPAN-B

JAPAN-BRONFENBRENNER

・Martin Bronfenbrenner

(ESS IRD GHQ, SCAP/Department of
Economics the University of Wisconsin)

JAPAN-C

JAPAN-COHEN

・Jerome B.Cohen (Mission Member)

JAPAN-D, E, F, G

JAPAN-DODGE

・Joseph dodge (The Detroit Bank)

JAPAN-H

JAPAN-HARA.S

JAPAN-HATFIELD

・Rolland B.Hatfield (Mission Member)

JAPAN-HIRATA

JAPAN-I

JAPAN-IKEDA

JAPAN-J

JAPAN-K, L

JAPAN-M

JAPAN-MACARTHUR

・Douglas MacArthur

JAPAN-MOSS

・Harold Moss (ESS IRD GHQ, SCAP)

JAPAN-N, O

JAPAN-P, Q, R

JAPAN-S

JAPAN-SHAVELL

・Henry Shavell (ESS IRD GHQ, SCAP)

JAPAN-SURREY

・Stanley S.Surrey (Mission Member)

JAPAN-T, U, V

JAPAN-W, X, Y, Z

JAPAN-YOSHIDA

その他に、

JAPAN-NEWS CLIPPINGS News clippings

JAPAN-NEWS CLIPPINGS2 News clippings 2

JAPAN-OTHER

JAPAN-PRESS REACTION: PRESS
CONFERENCES

・News clippings, Report

(Japan Reaction to Shoup Tax Study)

JAPAN-PRESS STATEMENT OF SEPT, 21-1950

JAPAN-PUBLIC OPINION SURVEYS

・Report

(Public Opinion and Sociological Research Division)

JAPAN-REPORT, PRESS RELEASE: COPIES DISTRIBUTED

JAPAN-SHOUP (Shoup-Conf., Notes.)

JAPAN-VISITING JAPANESE

C. シャープ自身が付けたインデックスネームには後述の如く使節団の結成・活動に重要な役割を演じた人々の名前が列挙されている。

しかし、人名以外の見出し名(=アルファベット)が付されたファイルの中にも重要なレターやメモランダムが多く含まれている。たとえば、“JAPAN-B”には使節団員の一人であるハワード R. ボーエン (Howard R. Bowen) が、そして“JAPAN-T,U,V”にも同じく団員であるウィリアム S. ヴィックリー (William S. Vickrey) 関係の書簡が含まれている。

そこで、次ぎに掲げた〈表1「使節団書簡類」個人別件数リスト〉を作成した⁸⁾。アルファベット名で総括されるファイルの中身を具体的に示すために、その中に含まれる個人(法人を含む)について、それぞれのファイル(Personal File)を設定し、併せてその件数も示した。

ところで、同表について個人(法人含む)別に名寄せを行うと、169の個人および法人名を得ることができる。その内訳は、ロックフェラー財団などの法人が8つ、その綴字から日本人と思われる者が100名、欧米人を中心とする外

国人が61名である。ただし、この日本人100名の内、その過半の63名は各1名につき1点のみで、名刺やグリーティングカードなど社交辞令的なものもそこには含まれている⁹⁾。

さらに、この〈表2「使節団書簡類」個人別件数リスト〉から書簡点数の上位40名(4件以上収録者)を抽出し、かつ所属等のデータ欄に補足作業を施したのが、〈「使節団書簡類」件数上位者一覧〉である。こうした収録件数の多い人物を軸に、使節団メンバー、GHQ関連者、日本の財政金融当局者あるいは大学人等との通信のやり取りを分析することで、使節団の当時の作業進捗がより具体的に再現できると思われる。なお、本稿末に付表として〈「使節団書簡類」リスト〉を掲げた。

5. 使節団結成経緯の一断面 ——「モス-ファイル」より——

〈表2「使節団書簡類」件数上位者一覧〉からもわかるように、もっとも点数が多いのは、“JAPAN-MOSS” (以下、「モス-ファイル」と称する)である。このファイルは量のみならず、質からも、とくに重要な部分を構成すると考えられる。

H. モス (Harold L. Moss) は、ダグラス・マッカーサー (Douglas MacArthur) の信任厚く、朝鮮軍政府財務部を経て、1948年にGHQに入り税制改革に専念した人物である¹⁰⁾。

使節団の設立経緯やその準備作業(第1次・第2次)、あるいは使節団の離日後の動向などを、使節団の長であるC. シャープと当時経済科学局内国歳入課 (IRD ESS GHQ SCAP) 長であったH. モスの両サイドから具体的に明らかにし得る一次資料がそこには含まれている。

(a) モスとの最初の接触と事前の情報収集

8) ところで、使節団書簡類は資料の作成順に並び替え、使節団の来日以前、来日中などのように期間を区切ることによって、たとえば次のような分析の手助けに成り得る。

来日前 (使節団準備期間) : その主な内訳

モス (20点)、使節団員のボーエン (6点)・コーエン (21点)・ハットフィールド (7点)・サリー (3点) や、オブライエンなど。

これらの書簡は個別に分析するだけでなく、相互の関連も視野に入れることによって、シャープ使節団の設立経緯やその準備段階事情を、より具体的に再現することができよう。

9) もっとも、名刺などは、調査旅行や諸団体との会合時の接触に際して徐々に溜まったものであろう。日本に不慣れなシャープにとって、このようなものも重要な情報源としてファイルしていたと考えられる。

10) 竹前栄治『GHQ』岩波新書、1983年、113頁参照。

表1 「使節団書簡類」個人別件数リスト

Index Name	Personal File	所 属 等	件数
JAPAN-A	TAKASHI AKAGAWA		1
	G.AKATANI		2
	TOKUZO AOKI	PROFESSOR, CHUO UNIVERSITY	1
	EJI AMANO		1
	HANAKO ARAKI		1
	THE ASAHISHIMBUN	NEWSPAPER OFFICE	1
	THOMAS ATKESON	BUREAU OF INTERNAL REVENUE WASHINGTON,D.C.	1
JAPAN- ARMY,DEPARTMENT OF	WILLIAM N.CAMPBELL	CHIEF, DEPARTMENTAL PERSONNEL OPERATIONS BRANCH	5
	ARTHUR W.HODGES	LT. COLONEL, GSC, OFFICE OF THE UNDER SECRETARY	8
	ALBERT C.JACOBS	PROVOST OF THE UNIVERSITY	1
	JOHN E.KEOUGH	MAJOR, GSC, CHIEF PERSONAL SECTION, OFFICE FOR OCCUPIED AREAS	2
	THEODORE R.C.KING	MAJOR, GSC	1
	LIEUTENANT C.KING	OFFICE OF SECRETARY OF THE ARMY	1
	ROY R.MAY	MAJOR, GSC	3
	RICHARD C.O'BRIEN	CHIEF, OVERSEAS AFFAIRS BRANCH, CIVILIAN PERSONNEL DIVISION	6
JAPAN-B	J.ENRIQUE ZANETTI	PROFESSOR, ASSOCIATE PROVOST LOW MEMORIAL LIBRARY	4
	BOYD L.BAILEY	ATTORNEY AT LAW (LAWYER)	2
	FABER BIRREN	FABER BIRREN & CAMPANY	2
	HOWARD R.BOWEN	【Mission Member】	17
JAPAN- BRONFENBRENNER	HAROLD C.BRADSHAW	IRD ESS GHQ SCAP	8
	M.BRONFENBRENNER	PROFESSOR, WISCONSIN UNIVERSITY, IRD ESS GHQ SCAP	39
JAPAN-C	MATOE CHIBA	VICEGOVERNOR, AOMORI IREFECTUER	1
JAPAN-COHEN	JEROME B.COHEN	【Mission Member】	42
JAPAN-D,E,F,G	EDWARD W.DOHERTY	OFFICER IN CHARGE JAPANESE ECONOMIC AFFAIRS	2
	ROBERT S.FORD	PROFESSOR, MICHIGAN UNIVERSITY	1
	MINORU FUJIMURA	ESS SEDAN DRIVER	1
	M.FUKAMIZU		1
	SHUNGO FURUI	PRESIDENT, NIPPON DENKIONKYO CO.,LTD	1
	GAKUSHUIN COLLEGE	COLLEGE	1
	GOEKU	CHIEF, FINANCIAL ADMINISTRATION OKINAWAN CIVILIAN ADMINISTRATION	1
	CARTER GOODRICH	COLUMBIA UNIVERSITY	1
	HIROSHI GOTO	CHIEF, TAXATION AFFAIRS DIVISION NATIONAL COMMISSION ON LOCAL FINANCE	1
JAPAN-DODGE	JOSEPH M.DODGE	PRESIDENT, THE DETROIT BANK	19
JAPAN-H	TOSHIO HAMAJIMA	CHIEF, GENERAL AFFAIRS DIVISION TOKUSHIMA PREFECTURAL GOVERNMENT	1
	KIKUTARO HARA	MAYOR, TOKUSHIMA CHITY	1
	YASUSABURO HARA	PRESIDENT, NIPPON KAYAKU CO.,LTD.	1
	THE HARVARD COLLEGE LIBRARY	COLLEGE LIBRARY	1
	TEIZO HORIKOSHI	MAGAGING DIRECTOR, THE JAPAN TAX ASSOCIATION	1
	YOSHIYASU HOSODA	DIRECTOR, TAX BUREAU	2
	GUNJI HOSONO	EXECUTIVE DIRECTOR	7
	WARREN HUNSBERGER	CHIEF, JAPAN BRANCH DIVISION OF RESEARCH FOR FAR EAST	1
JAPAN-HARA.S	SUMIO HARA	TAXATION BUREAU MINISTRY OF FINANCE JAPAN	11
JAPAN-HATFIELD	ROIAND F.HATFIELD	【Mission Member】	10

Index Name	Personal File	所 属 等	件数
JAPAN-HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	DIRECTOR, TAXATION AND CUSTOMS BUREAU, MINISTRY OF FINANCE	13
JAPAN-I	HISATO ICHIMADA	GOVERNOR, THE BANK OF JAPAN	6
	TAKASHI IHARA	FINANCIAL COMMISSIONER' S OFFICE MINISTRY OF FINANCE	2
	MINESATO IKEBATA	PRESIDENT, BANK OF THE RYUKYUS NAHA, OKINAWA	1
	HANYA ITO	PROFESSOR, HITOTSUBASHI UNIVERSITY	6
	ICHIRO ISHIKAWA	PRESIDENT, THE FEDERATION OF ECONOMIC ORGANIZATION	3
JAPAN-IKEDA	HAYATO IKEDA	MINISTER OF FINANCE	4
JAPAN-J	JAPAN SOCIETY, INC.	SOCIETY	1
	JAPAN TAX ASSOCIATION	ASSOCIATION	1
	BYRON L.JOHNSON	PROFESSOR, DENVER UNIVERSITY	2
	COLONEL HOWARD P.JONES	BIPARTITE CONTROL OFFICE, FINANCE GROUP ,FRANKFURT GERMANY	2
JAPAN-K,L	KENICHI KAKINAGA	ASSISTANT CENSOR, CIVIL CENSORSHIP DETACHMENT GHQ	1
	VERNON P.BROWN	HEADQUARTERS, CHIBA MILITARY GOVERNMENT TEAM CIVIL INFORMATION AND EDUCATION SECTION	1
	YOSIRO KIMIZUKA	FARMER IN CHIBA PREFECTER	8
	KAZUO KATO	NIHON UNIVERSITY	1
	MASAO KAMBE	CHAIRMAN, LOCAL ADMINISTRATION INVESTIGATION COMMITTEE	4
	MOTOKAZU KIMURA	PROFESSOR, HITOTUBASHI UNIVERSITY.	3
	KINNOBU KISHIMOTO	SECRETARY, FINANCE MINISTRY INTERNAL REVENUE, ESS GHQ SCAP	3
	K. KITANO	KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI (PRESIDENT, PRINCE TAKAMATSU)	2
	TAKESHIRO KODERA	KWANSAI GAKUIN UNIVERSITY	1
	MICHIHITO KONDO	ASSISTANT CHIEF, BANKING SECTION, BANKING BUREAU, MINISTRY OF FINANCE	1
	GEO. J. KORENAGA	SUB-MANAGER, FOREIGN DEPARTMENT THE SANWA BANK	1
	SHINICHIRO KUDO	EXECUTIVE EDITOR, MAINICHI NEWSPAPERS	1
	HENRY LUDMER	DR.	2
JAPAN-M	CHOEI MADAMBASHI	FOREIGN AFFAIRS DEPT., BANK OF THE RYUKYUS	1
	TARAO MAEDA		1
	SHIGESABURO MAEO	CHAIRMAN, LOCAL ADMINISTRATION COMMITTEE	1
	MAINICHI OVERSEAS EDITION	MAINICHI NEWSPAPER KOBE,JAPAN	2
	MAINICHI PRESS (CHIKAO HONDA)	PRESIDENT, THE MAINICHI PUBLISHING CO.,LTD.	2
	HARRY L.MANGERICH	IRD OSAKA REGIONAL FIELD BRANCH	2
	FRITZ KARL MANN	CHAIRMAN, AMERICAN UNIVERSITY	1
	WILLIAM F.MARQUAT	MAJOR GENERAL	6
	J.RUPERT MASON	PRESIDENT, INTERNATIONAL UNION FOR LAND VALUE TAXATION AND FREE TRADE	1
	SHIGEO MATSUMOTO	REPRESENTATIVE, THE BANK OF JAPAN	4
	SHUTARO MATSUSHITA	PROFESSOR, WASEDA UNIVERSITY	8
	ORVILLE J.McDIARMID	ACTING CHIEF, DIVISION OF FINANCIAL AFFAIRS	4
	T.MIYAJIMA	PROFESSOR, KANSAI UNIVERSITY	6
	TYOTARO MIZOUE	PAINTER	4
	MONROE		1
	ALFRED D.MORGAN	HARVARD UNIVERSITY	6
	PAUL R.MORT	TEACHERS COLLEGE COLUMBIA UNIVERSITY	2
	GEN MURASE	COMMISSIONER, THE CERTIFIED PUBLIC ACCOUNTANT FINACE MINISTRY	4
	MICHIO MURAYAMA	GOVERNOR, YAMAGATA PREFECTURE	14

Index Name	Personal File	所 属 等	件数
JAPAN-MACARTHUR	DOUGLAS MACARTHUR	GENERAL HEADQUARTERS SUPREME COMMANDER	12
JAPAN-MOSS	HAROLD MOSS	IRD ESS GHQ SCAP	85
JAPAN-N,O	KIYOSHI NAGATA	PROFESSOR, KEIO UNIVERSITY	9
	TORU NAKAGAWA	CHIEF OF MANAGEMENT DIVISION, ADMINISTRATION MANAGEMENT AGENCY, JAPANESE GOVERNMENT	1
	B.NAKAHASHI	PRESIDENT, KANSAI ECONOMIC FEDERATION	2
	K.NAKAMURA	NISHIMURA' S LACQUER FACTORY	1
	MAKOTO NAKAO	DIRECTOR, THE ASSOCIATION OF ART AND CULTURE STUDY	1
	ICHIRO NAKAYAMA		1
	NAMBA	DOSHISHA UNIVERSITY	1
	GENZABURO NATSUBORI	CHAIRMAN OF COMMITTEE FOR FINANCE, HOUSE OF REPRESENTATIVES	2
	HIDEO NOMURA	CHAIRMAN, LOCAL FINANCE COMMISSION JAPANESE GOVERNMENT	14
	MANSAKU NOMURA	GOVERNOR, NARA PREFECTURE	1
	CHUNI OGASHIWA	TOKYO COSMETIC MANUFACTURERS'ASSOCIATION	1
	TARO OGAWA	CHAIRMAN, KANTO DISTRICT ADULT OFFENDERS PREVENTION AND REHABILITATION COMMISSION ATTORNEY GENERAL OFFICE	1
	TAMOTSU OGITA	LOCAL FINANCE COMMISSION	9
	BUNSHICHI OHATA	PRESIDENT, SHIGA UNIVERSITY	1
	MASAYOSHI OHIRA	MINISTRY OF FINANCE JAPANESE GOVERNMENT	1
	KINJIRO OHKI		1
	S.OHTA		1
	KIYOHIDE OKANO	MINISTER OF STATE	2
	SHIGEO OKANO		1
	HIKOSABURO OKAYASU	VICE GOVERNMENT OF TOKYO	1
	PAUL M.O'LEARY	CORNELL UNIVERSITY	1
JAPAN-P,Q,R	PICKERING	COLUMBIA UNIVERSITY	1
	FLORENCE POWDERMAKER	DR.	1
	R.W.E.REID	OFFICE OF UNDERSECRETARY DEPARTMENT OF THE ARMY	1
	THE ROCKEFELLER FOUNDATION	FOUNDATION	1
	E.A.RUTH	HEAD, ESTATE AND GIFT TAX DIVISION	1
JAPAN-S	MICHIKAZU SAIGO	CHIEF, ADMINISTRATION SECTION LOCAL FINANCE COMMISSION	1
	PAUL SANDERS	THE ASSOCIATED PRESS	3
	KENNETH SANOW	IRD ESS GHQ SCAP	10
	KICHIRO SASAKI	MEIJI UNIVERSITY	1
	HUBERT G.SCHENCK	CHIEF, NATIONAL RESOURCES SECTION	4
	WILLIAM R.SEARS	UNITED PRESS ASSOCIATIONS	4
	TOKUE SHIBATA	INSTRUCTOR, UNIVERSITY OF THE CITY OF TOKYO	1
	SOICHI SHIBUE		1
	KIYOMI SHINAGAWA	PRESIDENT, KYOTO HANGA.IN	1
	TOSHIROU SHIMANOUCI	FOREIGN OFFICE	1
	ARTHUR T.SIMMONS	SENIOR TAX SPECIALIST, IRD HRFO ESS GHQ SCAP	3
	SHINICHIRO SHIMOJOYO	ASSISTANT CHIEF, RESEARCH & STATISTICS SEC, CUSTOMS DIVISION MINISTRY OF FINANCE	1
	M.SMITH		1
	AUDLEY H.F.STEPHAN	RUTGERS UNIVERSITY	1
	ARTHUR STUART	TREASURY DEPARTMENT	1

Index Name	Personal File	所 属 等	件数
JAPAN-S	CHIGORO SUGIYAMA	ASSISTANT REPRESENTATIVE JAPANESE GOVERNMENT OVERSEAS AGENCY	1
	GENGO SUZUKI	FINANCIAL COMMISSIONER MINISTRY OF FINANCE	1
	FUMI SUZUKI	COMMISSIONER, KANTO DAOPAR COMMISSION	1
	SHUNICHI SUZUKI	ASSISTANT-DIRECTOR, LOCAL AUTONOMY AGENCY	1
JAPAN-SHAVELL	HENRY SHAVELL	ACTING CHIEF, IRD IR ESS GHQ SCAP	11
JAPAN-SURREY	STANLEY S.SURREY	【Mission Member】	14
JAPAN-T,U,V	MAMORU TAKAHASHI	COMMISSIONER, TAX ADMINISTRATION AGENCY	3
	TAKESHI TAKAHASHI	TAILOR	1
	JIRO TAKASE	DIRECTOR, EXTERNAL AFFAIRS OFFICE	1
	TATSURO TAKEMURA	LABOR DIVISION ESS	1
	KAZUO TAKESHITA	TAX ADMINISTRATION BUREAU	1
	KINJI TAMURA		1
	M.TANAKA	CONSULTANT, CONSULATE GENERAL OF JAPAN	2
	SHIGETADA TASAKA	FORMER DEPUTY MAYOR OF OSAKA	1
	HANAMA TASAKI		2
	SAKUO TERANAKA	CHIEF, ACCOUNTING SECTION, MINISTER'S SECRETARIAT, MINISTRY OF EDUCATION OF JAPAN	1
	RISABURO TORIKAI	PRESIDENT, KYOTO NIVERSITY	1
	IWAO TOTSUKA	INVESTIGATION SECTION TAXATION BUREAU MINISTRY OF FINANCE	2
	PAYSON J.TREAT	PROFESSOR, STANFORD UNIVERSITY	2
	M.TSUDA	(K.TAKAHASHI, H.UENO, H.FUJII)	1
	KATSUZO TSUJI	PLANNING SECTION, ECONOMIC STABILIZATION BOARD	1
	SHIGETO TSURU	PROFESSOR, HITOTSUBASHI UNIVERSITY	6
	T.TSURUZAWA	PHARMACIST	1
	SOMEI F.UZAWA	PRESIDENT, MEIJI NIVERSITY	1
	WILLIAM VICKREY	【Mission Member】	1
JAPAN-W,X,Y,Z	GEORGE A.WARP	PUBLIC ADMINISTRATION CLEARING HOUSE	1
	WILLIAM C.WARREN	【Mission Member】	1
	TAKESHI WATANABE	FINANCHIAL COMMISSIONER MINISTRY OF FINANCE	4
	JAMES R.WATSON	EXECUTIVE DIRECTOR, NATIONAL CIVIL SERVICE LEAGUE	1
	MELVIN I.WHITE	BOARD OF GOVERNORS, FEDERAL RESERVE SYSTEM	2
	ROBERT WILLIS	BOARD OF INLAND REVENUE	1
	WOYENO	DIRECTOR, THE NIPPON TOKI CO.,LTD "NORITAKE CHINA"	2
	WU	CHINESE MISSION	1
	ISAMU YAMADA	PROFESSOR, HITOTSUBASHI UNIVERSITY	1
	SEIICHI YAMADA	CHIEF, ECONOMIC RESEARCH DEPARTMENT THE BANK OF JAPAN	2
	TADAO YAMAGUCHI	PROFESSOR, CHUO UNIVERSITY	3
	TOSHIO YAMAMOTO	PROFESSOR, KEIO UNIVERSITY	1
	HIROSHI YOSHISE	LFC	1
	RALPH A.YOUNG	YOUNG MISSION	1
JAPAN-YOSHIDA	SHIGERU YOSHIDA	PRIME MINISTER OF THE JAPANESE GOVERNMENT	10

表2 「使節団書簡類」件数上位者一覧

氏 名	所 属 等	期 間	件数
HAROLD MOSS	G H Q 経済科学局内国歳入課長	1948/9/30 ~ 1951/8/3	85
JEROME B.COHEN	シャウプ税制使節団員	1948/11/21 ~ 1951/5/2	42
M.BRONFENBRENNER	ウインズコンシン大学, G H Q 経済科学局内国歳入課	1949/2/7 ~ 1951/9/17	39
JOSEPH M.DODGE	デトロイト銀行頭取	1949/10/18 ~ 1950/9/6	19
HOWARD R.BOWEN	シャウプ税制使節団員	1949/1/14 ~ 1950/10/17	17
村山美智臣	山形県知事	1950/12/30 ~ 1956/4/14	14
野村秀雄	地方財政委員会委員長	1950/9/21 ~ 1955/12/22	14
STANLEY S.SURREY	シャウプ税制使節団員	1949/2/28 ~ 1951/8/10	14
平田敬一郎	大蔵省主税局長	1951/4/6 ~ 1953/2/10	13
DOUGLAS MACARTHUR	連合国最高司令官	1949/6/7 ~ 1951/4/12	12
原純夫	大蔵省主税局国税第一課長	1949/9/28 ~ 1956/8/7	11
HENRY SHAVELL	G H Q 経済科学局内国歳入課チーフ	1950/1/6 ~ 1950/6/14	11
ROILAND F.HATFIELD	シャウプ税制使節団員	1949/1/29 ~ 1950/1/17	10
KENNETH SANOW	G H Q 経済科学局内国歳入課	1950/2/15 ~ 1952/2/20	10
吉田茂	内閣総理大臣	1950/4/19 ~ 1959/6/1	10
永田清	慶応大学	1949/7/30 ~ 1951/7/24	9
荻田保	地方財政委員会 (事務局長)	1951/4/3 ~ 1953/3/2	9
ARTHUR W.HODGES	LT. COLONEL, GSC, OFFICE OF THE UNDER SECRETARY	1949/9/29 ~ 1950/7/24	8
HAROLD C.BRADSHAW	G H Q 経済科学局内国歳入課	1950/5/6 ~ 1950/8/1	8
君塚 Y	千葉県在住農民	1951/3/10 ~ 1952/4/23	8
松下周太郎	早稲田大学	1950/3/7 ~ 1954/10/5	8
細野軍治	EXECUTIVE DIRECTOR	1949/7/27 ~ 1953/3/24	7
RICHARD C.O'BRIEN	CHIEF, OVERSEAS AFFAIRS BRANCH, CIVILIAN PERSONNEL DIVISION	1948/11/5 ~ 1949/3/23	6
一万田尚登	日本銀行総裁	1951/4/26 ~ 1951/8/29	6
井藤半弥	東京商科大学 (一橋大学)	1950/10/3 ~ 1952/9/29	6
WILLIAM F.MARQUAT	G H Q 経済科学局長 (少将)	1949/8/20 ~ 1950/10/6	6
宮島綱男	関西大学	1949/7/25 ~ 1950/3/23	6
ALFRED D.MORGAN	ハーバード大学	1948/11/22 ~ 1949/2/17	6
都留重人	東京商科大学 (一橋大学)	1951/2/28 ~ 1952/1/18	6
WILLIAM N.CAMPBELL	CHIEF, DEPARTMENTAL PERSONNEL OPERATIONS BRANCH	1949/10/3 ~ 1950/2/23	5
J.ENRIQUE ZANETTI	ブローバスト大学	1949/1/6 ~ 1949/1/31	4
池田勇人	大蔵大臣	1950/3/13 ~ 1951/5/21	4
神戸正雄	地方行政調査委員会議委員長	1950/4/19 ~ 1951/4/26	4
松本 S	日本銀行 (REPRESENTATIVE)	1951/3/8 ~ 1952/11/3	4
ORVILLE J.McDIARMID	ACTING CHIEF, DIVISION OF FINANCIAL AFFAIRS	1949/8/5 ~ 1950/2/20	4
溝上豊太郎	肖像画家 (シャウプの肖像画創作)	1950/1/3 ~ 1950/2/15	4
村瀬玄	COMMISSIONER, THE CERTIFIED PUBLIC ACCOUNTANT FINANCE MINISTRY	1950/1/30 ~ 1951/12/11	4
HUBERT G.SCHENCK	CHIEF, NATIONAL RESOURCES SECTION	1949/5/27 ~ 1949/6/8	4
WILLIAM R.SEARS	UNITED PRESS ASSOCIATIONS	1950/2/8 ~ 1950/12/22	4
渡辺武	大蔵省財務官	1950/4/28 ~ 1951/8/2	4

「モス－ファイル」に収められた最初の書簡の日付は、1948年9月30日と打たれている。同書簡の冒頭には、“Here are a few afterthoughts resulting from our conversation of yesterday”と記されており、C. シャウプとH. モスがこの書簡の日付の前日すなわち1948年9月29日に話し合いを行っていたことが読み取れる。

また、C. シャウプは日本政府の招きで1972年に来日した際、使節団成立の発端について「1948年の秋のある夕方、私はちょうどコロンビア大学の教授室におりましたが、その時突然電話が鳴りました。その電話機を取り上げてみると、私の知らない人からの電話でしたが、それは実は、ハロルド・モス氏からの電話でありました」と語っている（「シャウプ勧告－その成立と目的」『ファイナンス』1972年12月号）。

この点からも、C. シャウプとH. モスとの最初の接触は、1948年の9月の末頃と考えて良いであろう¹¹⁾。

H. モスは、この接触後、日本の情報資料や関係文献をいくつかC. シャウプ宛に送付している。以下、そのリストを掲げよう。

（「モス－ファイル」所収 Moss→Shoup, 1948.12.23.）

① Summary of national budget of the Japanese Government for the FY 1948 /49.

② Memo of Mr. Henry Shavell, entitled “Problems in Taxation” prepared expressly for your information.

③ Copy of article entitled “The Reform of the

Tax System” by Professor S. Shiomi, as published in the April 1940 Issue of the Kyoto University Economic Review. (Covers both national and local taxation) .

④ Memorandum, dated 3 June 48, entitled “Tax Data for the Young Mission”, prepared by Mr. Shavell.

⑤ Memorandum, dated 3 June 48, entitled “Local Government Tax Data for the Young Mission”, prepared by Mr. Kenneth Sanow.

⑥ Memorandum, dated 1 March 48, entitled “Local Taxation in Japan”, prepared by Mr. Kenneth Sanow.

⑦ Reprint of article, “Postwar Taxation in Japan”, by Mr. Henry Shavell, which appeared in the Journal of Political Economy, Volume VI, No 2, April 1948.

これら経済科学局内国歳入課のH. シャベルおよびK. サノーらが作成した資料・レポート、あるいは京大の汐見教授の著作物などは、来日前の貴重な情報源になったと考えられる。

(b) 使節団の構成と団員の選定について

使節団員（第1次）の顔ぶれは、先に記したように団長のシャウプ以下、次の通りである。

C. シャウプ (Carl S. Shoup)

S. サリー (Stanley S. Surrey)

H. ボーエン (Howard R. Bowen)

W. ヴィックリー (William S. Vickrey)

J. コーエン (Jerome B. Cohen)

W. ウォーレン (William C. Warren)

R. ハットフィールド (Rolland F. Hatfield)

それでは、以上のような使節団員の選定は、いつ頃なされたのであろうか。

1949年2月9日付でC. シャウプからH. モス宛てに出された書簡（「モス－ファイル」所収）は、使節団員の候補が出揃ったのを確認できる資料として注目すべきものである。同書簡の前段には、“My plans for staffing the mission are pretty well completed”と記され、使節団の人数がほぼ完了したことを伝えている。続いて、

11) さらに、シャウプが近年著した『シャウプの証言』（税務経理協会発行、1988年）によると、「1948年10月、モスはニューヨークのコロンビア大学ビジネススクールのオフィスに私を訪ねて、私対日税制使節団を結成し、それを率いることができるかどうか打診してきた」とある（同書16頁）。このことを勘案すると、電話による9月の最初の接触後、翌10月に両者は大学構内で面識を持ったと考えることができる。

各使節団員についてその期待される職務が次のように述べられている。

W. ヴィックリーについては、“For the general economist who has specialized in tax matters I have selected Professor William Vickrey”. そして、H. ボーエンについても、“For the other economist I have tentatively selected Dean Howard Bowen”と記され、両氏には税制問題の専門家としての参加が要請されていたことがわかる。

なお、H. ボーエンには、“One economist who has studied in the field of central-local fiscal relations”との記載もあり、国家財政と地方財政の関連分野についてその役割が期待されていた。

W. ウォーレンとS. サリーの両氏については、“The two men that I have available forwarding in tandem on the tax law sector are Professor William Warren of the Columbia Law School and Professor Stanley Surrey of the School of Law of the University of California”と記され、税法分野での連携に期待が寄せられていたことがわかる¹²⁾。

12) ウォーレンはコロンビア大学法学部教授、サリーはカリフォルニア大学バークレイ校法学部教授の職にあった。両氏とも税法学の専門家であった。

ウォーレンは法人税・資産再評価・納税者の救済等、そしてサリーは訴訟・訴願手続き・税務行政等を事務分担し、税法・税務関係から勧告作成に貢献した。

それら成果の一つである所得計算の合理化すなわち所得課税システムの近代化は、青色申告の制度と並んでシャープ勧告の功績の大きな部分と言われている（平田・忠・泉編『昭和税制の回顧と展望』〈上巻〉、大蔵財務協会発行、1979年、445～450頁）。従来日本に馴染みの無かった申告納税制度において、このシステムはその制度の合理的運用上不可欠なものであったからである。両氏を使節団員のメンバーに加えた点は、使節団全体でバランスがとれ実地的である勧告作成を目指したシャープの選定眼の確かさを裏付ける事例の一つだとされている。

また、使節団にはリサーチ・アソシエイツ（research associate）2名が設置され、それぞれ次のような役割が期待された。

“One of the resear associates will be a specialist in local property taxation”と“The other will have a general knowledge of the Japanese economy”である。すなわち、一人は地方・固定資産税の専門家、そしてもう一人は日本経済の全般的な知識保持者であった。

前者にはR. ハットフィールド（Director of research of the Minnesota Department of Taxation）が、そして後者にはJ. コーエンが適任とされた。R. ハットフィールドは当時、ミネソタ州政府税務局の税務研究課に在職中であり、また、J. コーエンは他の使節団員に先立ち、1カ月以上も前に来日し調査活動を行うこととなる。

このような使節団員の選定については、このH. モスへの書簡の一週間後にC. シャープがR. オブライエン（Richard C. O'Brien）に宛てた書簡（1949年2月17日付、“JAPAN-ARMY, DEPARTMENT OF : CORRESPONDENCE”所収）からも裏付けることができる。R. オブライエンは、民間人専門家の海外派遣に携わる部局のチーフの職にあった。

同書簡でC. シャープは、“I have invited the following to serve as members of the joint American-Japanese tax commission”と、各使節団員を次の①～⑥のように紹介している（⑤～⑥の2名は先に見たりサーチ・アソシエイツとして紹介）。

① “Professor William S. Vickrey, Department of Economics, Fayerweathe hall, Colombia University, New York 27, New York”。

② “Dean Howard R. Bowen, Dean of the College of Commerce and Business Administration, University of Illinois, Urbana, Illinois”。

③ “Professor William C. Warren, Kent hall, Columbia university, New York 27, New York”。

④ “Professor Stanley S. Surrey, School of Jurisprudence, University of California,

Berkeley, California”.

⑤ “Professor Jerome B. Cohen, Apartment 8A, 231 East 76 Street, New York 21, New York. Professor Cohen is on the Faculty of the College of the City of New York” .

⑥ “Rolland F. Hatfield, Department of Taxation, State Office Building, St. Paul 1, Minnesota”.

これらのことから、シャウプ使節団における団員の大枠は、1949年2月の初旬頃には出来上がっていたとみることができよう¹³⁾。

(c) 使節団の初期構成案

もっとも、このような使節団の構成および団員の選定については、C. シャウプの当初の予定とは若干異なった部分もあったようである。

たとえば、1948年12月30日付けでC. シャウプからH. モス宛てに出された書簡（「モス—ファイル」所収）において、C. シャウプは、H. モスに対して使節団の構成および団員の選定について幾つか打診をしている。それはジュニア—アシスタント（junior assistant）とシニア・メンバー（senior member）の設置、および前者にJ. コーエンとA. モルガン（Alfred Morgan）の両氏、後者にF. ノイマルク（Dr. Fritz Neumark）の起用を提案するものであった。

A. モルガンはハーバード大学に在職。F. ノイマルクは、イスタンブール大学で財政学を担当し、ヨーロッパの税制に造詣が深いと説明している。A. モルガン自身は、1948年11月22日から翌1949年2月17日までの間にC. シャウプと何回か書簡のやり取りをしていた（“JAPAN-M”所収）ので、使節団の性格や任務について一定の情報が提供されていた。

さらに、1949年2月3日付けでC. シャウプ

からH. モス宛てに出された書簡（「モス—ファイル」所収）においては、リサーチ—アシスタント（research assistant）という名称が使われ、これにJ. コーエンの名を見いだすことができる。J. コーエンは先に見たように最終的にはリサーチ—アソシエイツという職名にあった。このことを考え併せると、この職名はジュニア—アシスタント→リサーチ—アシスタント→リサーチ—アソシエイツという変遷を経たと見ることができる。一方、シニアについては、同書簡によると来日までの時間的制約から選任が難しいと記載されている。

このような経緯から、使節団の初期構成案から実際に来日した使節団員が選定・固定される1949年2月初旬までは、実際には若干の修正があったとみてよいだろう。

(d) 日本側の使節団協力メンバーについて

使節団の勧告作成にあたっては、日本側の協力メンバー（学者グループ）が一定の役割を果たしたとされている。当時の関係者のなかにも、それによる影響を指摘する声がある¹⁴⁾。それでは、彼らはいつ頃どのような経緯で選ばれたのであろうか。先にみた使節団結成の過程を示す書簡類（「モス—ファイル」）の中に、すでに日本側の協力メンバー選出に言及している箇所が幾つか見い出せる。

1949年2月3日付けのC. シャウプからH. モス宛ての書簡（「モス—ファイル」所収）には、

“I do believe it would be advisable to set up a joint commission which should include two and possibly three Japanese members. It might be named the Special Joint Commission on Taxation, or something like that.” と、2名もしくは可能ならば3名の日本人メンバーを含んだ

13) 使節団の結成時期については、各使節団メンバー関連の書簡の吟味によって、より明確にすることができよう。

14) 日本の学者グループの協力・その影響については、前掲『昭和税制の回顧と展望』（上・下巻）などを参照のこと。

日米の「ジョイント・ミッション」にしたいとの意向が示されている。続いて日本人メンバーの候補者として、都留重人 (Mr.Tsuru) と汐見三郎 (Mr.Shiomi) の両氏の名前が既にこの時点で挙げられている。

この2カ月ほどのちの書簡 (Shoup→Moss, 1949.4.14. 同ファイル所収) では、

“The more I hear about Dr.Tsuru the more strongly I favor appointing him as a member”.

“We need to have on the commission a Japanese member who is thoroughly trained in modern economics, and who talks English well, and who has a high degree of intelligence. And I understand that Dr.Tsuru fulfills all of these requirements” と記載され、とくに都留教授への期待の大きさが見てとれる (下線は筆者)。

1949年4月22日、H. モスと一足早く来日したJ. コーエンは、都留教授と長時間話し合いをもち、教授の協力の承諾を得た (Moss→Shoup, 1949.4.23. 同ファイル所収)。

この情報に対して、C. シャウプは “I am very pleased to learn that Dr.Tsuru will be able to assist our mission. I am sure his services will prove quite valuable” と、喜びの声をH. モスに伝えている (Shoup→Moss, 1949.5.2. 同ファイル所収)。

このように「モス—ファイル」からは、日本側の協力メンバー (学者グループ) に対して早い段階から大きな期待が寄せられていたことを窺い知ることができる。とくに4月以降、日本行きの日が近づくと、C. シャウプとH. モスとの相互の書簡には、日本側協力メンバーの選定問題が必ず取り上げられるようになり、重大なテーマとなっていた。

6. 「勧告書」の作成過程

——「マッカーサー—ファイル」より——

シャウプ使節団の来日中の行動は、「シャウプ使節団の行動日程」(シャウプ税制研究会『シャウプの税制勧告』所収)¹⁵⁾に詳しい。あるいは、当時の新聞記事からその具体的な足跡を追うことも可能であろう¹⁶⁾。調査旅行は非常に広い範囲に渡り、多様な階層 (納税者) から直接話を聞きとった。C. シャウプの実証主義的な調査・研究態度は、当時から多くの人の賞賛を得ていた。

「シャウプ税制勧告 (第1次)」は、このようなエネルギーな調査活動の集大成といえる。しかし、この勧告も、もちろん一朝一夕に出来上がったわけではない。勧告が発表された8月 (1949年) の上旬 (8月1日～10日、奥日光滞在) はとくに集中的にその構想が練られたとされる。

ここでは、“JAPAN-ARMY, DEPARTMENT OF: CORRESPONDENCE”, “JAPAN-MACARTHUR”, “JAPAN-M (Marquat)” (いずれも前掲「使節団書簡類」所収) から使節団の行動報告や勧告書の作成・発表に関わるメモランダム等を抽出し、勧告書作成過程の研究における糸口の一つを提示したい¹⁷⁾。

(a) 「マッカーサー—ファイル」

16) 井上一郎編『シャウプの税制勧告 (新聞資料編)』(霞出版社, 1985年)を参照。

17) その他の書簡類にも重要と思われるものは多い。たとえば、書簡数が「モス—ファイル」に次いで多いブロンフェンブレナー関連書簡類、あるいは各使節団員とシャウプとの通信、とくに先に離日したコーエン、サリー、ボーエンらとの通信などである。経済科学局内国歳入課員 (シャベルやブラッドショウなど) との具体的な関係も明らかにすべき点の一つであろう。

18) この下書きと連合軍最高司令官宛に出された成稿との比較検討も興味深い今後の課題となる。

15) シャウプ税制研究会『シャウプの税制勧告』(霞出版社, 1985年)。

“JAPAN-MACARTHUR”（以下、「マッカーサーファイル」と称する）には、次のようなシャウプ来日中のメモランダム（①～⑤）がある。また、このファイルには他のファイルにはあまり見られない下書き（Draft）が多く保存されている¹⁸⁾。

①[Memorandum]

Subject: “State of Progress of Shoup Taxation Mission”

From: Shoup Taxation Mission

Date: 1949.6.7.

②[Memorandum]

SUBJECT: “First Set of Preliminary Conclusions”

From: Shoup Taxation Mission

Date: 1949.7.29.

③[Memorandum]

Subject: “Taxation Progress Report”

From: Shoup

Date: 1949.8.12.

④[Memorandum]

Subject: “Taxation Progress Report”

From: Shoup

Date: 1949.8.20.

⑤[Memorandum]

Subject: “Tax on Land and Houses, Revaluation of Assets, and Land Reform Program”

From: Shoup

Date: 1949.8.20.

使節団員が未だ揃わない1949年6月7日付けのメモランダム①には、“We have not yet reached even tentative conclusions”と記され、仮の結論にさえ達していない旨が報告されている。

しかし、J. コーエン、S. サリー、H. ボーエンの3氏が各自の調査分担を終え離日した（1949年7月27日）直後の1949年7月29日付けのメモランダム②には、“Our tax mission has reached tentative conclusions”とあり、一定の結論がこの時期（7月末頃）にまとまりつつあったことが窺える。C. シャウプはこの成果を

携え、先にも触れたように8月初旬に奥日光で「勧告」の構想を練ったと考えられる。

また、「勧告」発表直前の1949年8月20日付けのメモランダム④は、使節団が達した結論の概要がまとめられた報告書といえるものである（②および③のメモランダムを含む）。

(b)「マーカットファイル」

“JAPAN-M (Marquat)”（以下、「マーカットファイル」と称する）には、内国歳入課長H. モスの上司であった陸軍少将のW. マーカット（W.F. Marquat）に関する書簡が納められている。W. マーカットは、経済科学局の2代目の局長で1945年12月から占領終期までその職を務めた。彼はマッカーサー腹心の軍人で、局内の各課長に政務を任せていたといわれる。この「マーカットファイル」内には、「勧告書」発表前後の報告書2通が見出せる。1通目は1949年8月20日の日付でH. モスからW. マーカット局長宛てのもの（①）、2通目は1949年8月27日の日付でC. シャウプから同じくW. マーカット局長宛てのもの（②）である。

また、“JAPAN-ARMY, DEPARTMENT OF: CORRESPONDENCE”には、このW. マーカット局長関連の報告書（OUTGOING MESSAGE）が数通残されている。いずれも書式が同一（DEPT OF ARMY / DA WASH DC）の発送文書（ROUTINE）で、その承認者としてアメリカ陸軍少将・経済科学局長W. マーカットの署名が記されている。

③ 1949年7月7日 “FROM: SCAP / TO: DEPT OF ARMY” (Serial No.1)

④ 1949年7月9日 “FROM: SCAP / TO: DEPT OF ARMY” (Serial No.2)

⑤ 1949年8月12日 “FROM: SCAP TOKYO JAPAN / TO: DA WASH DC”

⑥ 1949年8月24日 “FROM: SCAP TOKYO JAPAN / TO: DA WASH DC” (Serial No.4)

⑦ 1949年8月24日 “FROM: SCAP TOKYO JAPAN / TO: DA WASH DC” (Serial No.5)

これら①～⑦の文書は、使節団の行動とくに

勧告書の作成進捗状況を詳しく伝える一連の経過報告書 (Series of Shoup Mission progress reports) といえるもので、「勧告」作成過程の情報源となるものである。Serial No.1 (③) は、経過報告第1号 (“This is first of series of Shoup Mission progress reports”) と位置づけられている。以下、Serial No.5 (⑦) まで、その経過報告が続いている。

7. おわりに

以上、本稿では、シャoup使節団関連を中心に、とくに「使節団書簡類」の検討を試みてきた。とくに「モスーフファイル」などの分析により、使節団設立の経緯および「勧告」作成の過程などが、ある程度明らかになったと思う。今後は、これら資料の内容を、より詳しく検討することによって使節団の日本での活動や「勧告」作成のプロセス等を、より具体的に把握できると期待している。

また、シャoup使節団は、多様な納税者の意見を集め、詳細なメモをとり、それらに基づいて「勧告」を作成したとされる。さらに、政府・関係省庁、経済・業界団体などの提出した資料も膨大な量にのぼったとされている。そうしたメモや資料の所在確認も今後の期待の一つであろう。

8. 補 遺

いままで見てきた「使節団書簡類」は、C. シャoup自身による整理済み文書類の典型である。そのため、個々の保存状態については程度の差はあれ、ファイルで大まかに一括してあるため資料個々の関係・その性格は、作成時の状況を基本的に維持していると思われる。

一方、分量的にはコレクションの大半を占める「仮整理・未整理ファイル類」については、コレクション移動の際の物理的・技術的要因も加わってか、痛みの甚だしい破損資料がかなり見受けられた。

このような状況に対処するため、資料整理作業においては、この「仮整理・未整理ファイル

類」のさらなる散逸の防止も並行して行った。そこで、一部ではあるが、破損資料から復元した報告書 (メモランダム) や意見書類を紹介しておこう。

以下、次のような大まかな配列に従って記すことにする。

- (a) 全般的な報告書・メモランダム
- (b) メモランダム (テーマ別)
- (c) 「神戸勧告」関係
- (d) 参考資料
- (e) 意見書・所見
- (f) 世論調査

(a) 全般的な報告書・メモランダム

① “CIE Press Conference on Summary of Recommendations of Tax Mission, 1000 hours, 26 August 1949”

報告者：Dr. Carl S. Shoup, Chairman, Shoup Taxation Mission

作成年：1949年 (1949.8.26 「シャoup勧告の概要」第一次)

② 日本文報告書『税制使節団の勧告の概要について—シャoup使節団々長カール・シャoup博士談』作成年：1949年

(1949.8.26 “Summary of Recommendations of Tax Mission” の和訳・第一次)

③ “CIE Press Conference on Recommendations of Tax Mission, 1030 hours, 21 September 1950”

報告者：Dr. Carl S. Shoup, Chairman, Shoup Taxation Mission

作成年：1950年

④ “Press Statement of the Shoup Tax Mission – Conclusions and Recommendation Based on Travel and Study in Japan, August and September, 1950”

作成者：National Foreign Trade Council, Inc.

作成年：1950年

⑤ [Memorandum]

“Summary of Japanese Taxes in Effect as of 1 April 1951”

作成者：Economic and Scientific Section I.R.D.
1951年4月1日「概要報告書」Summary（全13頁）

⑥ [Memorandum]

“Summary of Japanese Taxes in Effect as of 1 April 1952”

作成者：Economic and Scientific Section
Finance Division

1952年4月1日「概要報告書」Summary（全13頁）

(b) メモランダム（テーマ別）

報告書類のなかには、税制諸問題のテーマごとに問題を扱ったものも多い。

① [Memorandum]

“Shoup Mission Supplemental Memoranda (The Equalization Grant)”

作成者：Shoup Tax Mission

1950年9月（平衡交付金関係・全15頁）

② [Memorandum]

“Shoup Mission Supplemental Memoranda (Administration of the National Income Taxes)”

作成者：Shoup Tax Mission

1950年9月（所得税関係・全25頁）

③ [Memorandum]

“Shoup Mission Supplemental Memoranda (Local Tax Administration Problems)”

作成者：Shoup Tax Mission

1950年9月（地方税関係・全5頁）

④ [Memorandum]

“Shoup Mission Supplemental Memoranda (Inhabitants Tax)”

作成者：Shoup Tax Mission

1950年9月（市町村民税関係・全4頁）

これら①～④は『第2次日本税制報告書』の付録書（SUPPLEMENTARY MEMORANDA）と同一のものである。

また、これらメモランダムに関連して次のような綴が残されている。

⑤ “Shoup Mission Supplemental Memoranda – Tab A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L”

がそれである。以下、そのインデックスを記す。

INDEX

* Computation of Taxable Income (Tab A)

* Commodity Taxes (Tab B)

* Administration of the National Income Taxes (Tab C)

* Taxation of Government Property and Government Enterprises (Tab D)

* Taxation of Transportation Companies and Electricity and Gas Companies (Tab E)

* Inhabitants Tax (Tab F)

* Miscellaneous Prefectural and Municipal Tax Problems (Tab G)

* Local Tax Administration Problems (Tab H)

* Gasoline Tax (Tab I)

* The Equalization Grant (Tab J)

* Financing Disaster Rehabilitation (Tab K)

* Promotional Grants (Tab L)

この綴は、全部で12のメモランダムから構成され、それぞれ順にAからLまでの整理タブが付されている（A～L）。この内J, C, H, Fには上記①～④の4項目の内容を含むものである（下線は筆者）。同綴は、『第2次日本税制報告書』の作成経過に関わる資料とみられる。

この他、地方税関係では次の二つのメモランダムが残されている。

① [Memorandum]

“MEMORANDUM ON PREFECTURAL AND MUNICIPAL TAXES FOR 1950-51.”

作成者：IRD ESS (Original memorandum)

1950年4月26日「1950-51年における県・市税に関する覚え書き」

② [Memorandum]

“MEMORANDUM ON PREFECTURAL AND MUNICIPAL TAXES FOR 1950-51.”

作成者：IRD ESS

1950年8月1日「1950-51年における県・市税に関する覚え書き」

前者の1950年4月26日付けのメモランダムは、後者のオリジナルである。また、改正地方

税法関連では、次の二つの草稿がある。

① “BILL FOR PARTIAL AMENDMENT TO THE LOCAL TAX LAW”

(Government Draft No.1)

作成者：Local Autonomy Agency Local Finance Commission

1951年2月24日「地方税法部分修正議案」(草稿No.1)

② “Revision to the Bill for Partial Amendments to The Local Tax Law”

(Government Draft No.2)

作成者：Local Autonomy Agency Local Finance Commission

年代不詳・前記資料作成時以後か「地方税法部分修正議案」(草稿No.2)

この草稿No.1とNo.2は、ともにガバメントドラフトである。C. シャウプ離日後の資料であり、勧告後の経緯を示す資料の一つといえる。

(c) 「神戸勧告」関係

シャウプ勧告の趣旨を尊重し、これを具体化するために地方行政調査委員会が政府の諮問機関として、1949年12月26日に設置された。同会議の勧告(神戸勧告)に関わるものでは、その中間報告書(草稿)が、勧告書とともに残されている。

① “INTERM REPORT FOR REDISTRIBUTION OF ADMINISTRATIVE AFFAIRS (DRAFT)”

作成者：Local Administration Investigation Committee

1950年9月4日「行政事務再配分に関する中間報告(草稿)」(中間報告書) B4版、末尾に資料添付

② “RECOMMENDATION CONCERNING REDISTRIBUTION OF ADMINISTRATIVE AFFAIRS”

To Mr.Shidehara Kijuro, Mr.Sato Naotake, Mr.Yoshida Shigeru

From Kambe, Masao (Chairman of the Local Administration Investigation Committee)

1950年12月22日「行政事務再配分に関する勧告」(神戸勧告)

(d) 参考資料

各報告書を補完するものとして次のような参考(統計)資料も散見される。

① [Memorandum]

“Reply (Draft) Information for the Shoup Taxation Mission”

To Mr.Harold Moss from Local Autonomy Agency the Japanese Government

1950年7月31日(情報資料・Information)

② “Informal Memorandum for : Economic & Science Section, GHQ, SCAP.”

B4判ガリ刷資料添付

③ “Reference Calculating Data relating to the Local Finance”

Local Finance Commission

1950年7月「地方財政に関する参照データ」・B4判ガリ刷資料

④ “STATISTICAL ABSTRACT OF JAPANESE ECONOMY” Ministry of Finance the Japanese Government

1950年『日本経済の統計的概要』(統計資料・印刷物)

⑤ “ERRATUM” Ministry of Finance the Japanese Government

1950年『日本経済の統計的概要』(正誤表・統計資料)

(e) 意見書・所見

「勧告」に対する意見や所見については、まとまったものとして次のものが確認できる。第1次および第2次の税制使節団勧告に対するもの(①, ②)。また、地方財政委員会による意見書である(③)。

① “The Group Opinion on the Reformation of the Tax and Financial System as now a Bill on This Subject is Being Drawn”

Minister, Governor

1949年12月13日「税制改革に関する集団意見

書」(各大臣・各知事)

B4判, 県別各種統計表添付

② “OBSERVATION ON THE TAX REFORM”

Minister of Agriculture and Forestry

1950年9月8日「農林大臣による税制改革に関する所見」

③ “The Opinions of Local Finance Commission (2)” Local Finance Commission

作成時期不詳「地方財政委員会による意見書」

B4判, 各種統計表添付

(f) 世論調査

税制に関する世論調査も数点残されている。それらは何れも時事通信社の調査に係わるものである。シャウプ使節団が来日する前の1949年3月に実施された全国調査である「所得税に関する調査」を素材に作成されたもの(①)や、「勧告」直後に調査された「税制改革についての世論調査」(②)および「シャウプ税制改革についての世論調査」(③)の英訳資料がそれである。

① “Current Japanese Public opinion Surveys (Survey series)”

(Public opinion and Sociological research

Division)

作成者: Civil Informal and Educational Section
GHQ SCAP

1949年8月27日「サーベイ・シリーズ」

(「昭和24年3月全国調査-所得税に関する調査」を素材に作成)

② “A PUBLIC OPINION SURVEY ON TAX REFORM”

調査主体: The National Tax Board and The Jiji Press

1949年10月B4判「調査報告書」質問17項目,
国税庁・時事通信社

(「調査報告書-税制改革についての世論調査」)

③ “Public Opinion Survey on Shoup Tax Reform Recommendations”

調査主体: Public Opinion Survey Section Jiji Press

1949年B5判「調査報告書」質問37項目

(「調査報告書-シャウプ税制改革についての世論調査-昭和24年11月」)

(松元宏 横浜国立大学経済学部教授)

(佐々木哲也 麻布大学講師)

付表 「使節団書簡類」 リスト

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
1	JAPAN-A	TAKASHI AKAGAWA	TAKASHI AKAGAWA	SHOUP			
2		G.AKATANI	G.AKATANI	SHOUP	1950	3	30
3		G.AKATANI	SHOUP	G.AKATANI	1950	10	19
4		TOKUZO AOKI	TOKUZO AOKI	SHOUP			
5		EIJI AMANO	EIJI AMANO	SHOUP	1950	9	3
6		HANAKO ARAKI	HANAKO ARAKI	SHOUP		1	20
7		THE ASAHISHIMBUN	SHOUP	THE ASAHISHIMBUN	1950	9	21
8		THOMAS ATKESON	SHOUP	THOMAS ATKESON	1950	6	21
9	JAPAN-ARMY,DEPARTMENT OF	WILLIAM N.CAMPBELL	WILLIAM N.CAMPBELL	SHOUP	1949	10	3
10		WILLIAM N.CAMPBELL	SHOUP	WILLIAM N.CAMPBELL	1949	10	6
11		WILLIAM N.CAMPBELL	SHOUP	WILLIAM N.CAMPBELL	1949	11	2
12		WILLIAM N.CAMPBELL	SHOUP	WILLIAM N.CAMPBELL	1949	12	14
13		WILLIAM N.CAMPBELL	SHOUP	WILLIAM N.CAMPBELL	1950	2	23
14		ARTHUR W.HODGES	ARTHUR W.HODGES	SHOUP	1949	9	29
15		ARTHUR W.HODGES	ARTHUR W.HODGES	SHOUP	1950	2	28
16		ARTHUR W.HODGES	SHOUP	ARTHUR W.HODGES	1950	3	7
17		ARTHUR W.HODGES	SHOUP	ARTHUR W.HODGES	1950	4	26
18		ARTHUR W.HODGES	SHOUP	ARTHUR W.HODGES	1950	6	7
19		ARTHUR W.HODGES	SHOUP	ARTHUR W.HODGES	1950	6	21
20		ARTHUR W.HODGES	SHOUP	ARTHUR W.HODGES	1950	7	1
21		ARTHUR W.HODGES	SHOUP	ARTHUR W.HODGES	1950	7	24
22		ALBERT C.JACOBS	ALBERT C.JACOBS	SHOUP	1949	9	8
23		JOHN E.KEOUGH	JOHN E.KEOUGH	SHOUP	1950	9	26
24		JOHN E.KEOUGH	SHOUP	JOHN E.KEOUGH	1951	4	16
25		THEODORE R.C.KING	THEODORE R.C.KING	SHOUP	1950	5	1
26		LIEUTENANT C.KING	SHOUP	LIEUTENANT C.KING	1950	9	28
27		ROY R.MAY	ROY R.MAY	SHOUP	1949	3	25
28		ROY R.MAY	ROY R.MAY	SHOUP	1949	4	6
29		ROY R.MAY	SHOUP	ROY R.MAY	1949	9	1
30		RICHARD C.O'BRIEN	RICHARD C.O'BRIEN	SHOUP	1948	11	5
31		RICHARD C.O'BRIEN	SHOUP	RICHARD C.O'BRIEN	1948	11	15
32		RICHARD C.O'BRIEN	RICHARD C.O'BRIEN	SHOUP	1949	1	11
33		RICHARD C.O'BRIEN	SHOUP	RICHARD C.O'BRIEN	1949	2	17
34		RICHARD C.O'BRIEN	RICHARD C.O'BRIEN	SHOUP	1949	2	25
35		RICHARD C.O'BRIEN	SHOUP	RICHARD C.O'BRIEN	1949	3	23
36		J.ENRIQUE ZANETTI	SHOUP	J.ENRIQUE ZANETTI	1949	1	6
37		J.ENRIQUE ZANETTI	SHOUP	J.ENRIQUE ZANETTI	1949	1	14
38		J.ENRIQUE ZANETTI	J.ENRIQUE ZANETTI	SHOUP	1949	1	25
39		J.ENRIQUE ZANETTI	SHOUP	J.ENRIQUE ZANETTI	1949	1	31
40	JAPAN-B	BOYD L.BAILEY	BOYD L.BAILEY	SHOUP	1949	9	27
41		BOYD L.BAILEY	SHOUP	BOYD L.BAILEY	1949	10	5
42		FABER BIRREN	FABER BIRREN	SHOUP	1951	1	3
43		FABER BIRREN	SHOUP	FABER BIRREN	1951	1	11
44		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1949	1	14
45		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1949	1	22
46		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1949	2	5
47		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1949	2	17
48		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1949	2	23
49		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1949	3	1
50		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1949	9	2
51		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1949	9	12
52		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1950	1	3
53		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1950	1	10
54		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1950	2	7
55		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1950	2	10
56		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1950	2	15
57		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1950	3	9
58		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1950	4	10
59		HOWARD R.BOWEN	SHOUP	HOWARD R.BOWEN	1950	4	18
60		HOWARD R.BOWEN	HOWARD R.BOWEN	SHOUP	1950	10	17
61		HAROLD C.BRADSHAW	HAROLD C.BRADSHAW	SHOUP	1950	5	6
62		HAROLD C.BRADSHAW	SHOUP	HAROLD C.BRADSHAW	1950	5	11
63		HAROLD C.BRADSHAW	HAROLD C.BRADSHAW	SHOUP	1950	5	12
64		HAROLD C.BRADSHAW	HAROLD C.BRADSHAW	SHOUP	1950	5	19

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
65	JAPAN-B	HAROLD C.BRADSHAW	SHOUP	HAROLD C.BRADSHAW	1950	5	26
66		HAROLD C.BRADSHAW	HAROLD C.BRADSHAW	SHOUP	1950	6	6
67		HAROLD C.BRADSHAW	SHOUP	HAROLD C.BRADSHAW	1950	6	12
68		HAROLD C.BRADSHAW	HAROLD C.BRADSHAW		1950	8	1
69	JAPAN-BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	2	7
70		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	2	17
71		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	2	23
72		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	3	9
73		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	3	10
74		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	3	12
75		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	3	13
76		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	3	16
77		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	3	17
78		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	4	28
79		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	5	4
80		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	5	15
81		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	5	26
82		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	8	12
83		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	9	18
84		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	9	23
85		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	10	3
86		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	10	22
87		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	11	4
88		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1949	11	12
89		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1949	11	21
90		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER		1949	12	30
91		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	1	10
92		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1950	1	11
93		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	1	21
94		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	4	13
95		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1950	4	27
96		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	5	5
97		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	5	23
98		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	6	8
99		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	6	29
100		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1950	6	30
101		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	7	6
102		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	10	2
103		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1950	11	3
104		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1950	11	6
105		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1951	2	9
106		M.BRONFENBRENNER	M.BRONFENBRENNER	SHOUP	1951	9	12
107		M.BRONFENBRENNER	SHOUP	M.BRONFENBRENNER	1951	9	17
108	JAPAN-C	MATOE CHIBA	MATOE CHIBA				
109	JAPAN-COHEN	JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1948	11	21
110		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1948	11	24
111		JEROME B.COHEN	SHOUP	MORTON GOTSHALL	1948	11	26
112		JEROME B.COHEN	MORTON GOTSHALL	SHOUP	1948	12	1
113		JEROME B.COHEN	RUPERT EMERSON	SHOUP	1948	12	3
114		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1948	12	14
115		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	1	10
116		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1949	1	17
117		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949		
118		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	KENNETH D.MORROW	1949	1	25
119		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1949	1	26
120		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949		
121		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1949	2	24
122		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1949	3	8
123		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	3	9
124		JEROME B.COHEN	J.M.DODGE		1949	3	16
125		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1949	3	22
126		JEROME B.COHEN	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	3	22
127		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	3	30
128		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	ROY R.MAY	1949	4	12

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
129	JAPAN-COHEN	JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	4	19
130		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	GENERAL MARQUAT	1949	7	15
131		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	8	9
132		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1949	9	1
133		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	9	3
134		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	9	6
135		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	9	28
136		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	11	28
137		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1949	12	5
138		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1949	12	12
139		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1950	1	3
140		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1950	1	9
141		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1950	2	14
142		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1950	3	16
143		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1950	3	24
144		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1950	4	17
145		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1950	5	19
146		JEROME B.COHEN	JANE M.ALLEN	JEROME B.COHEN	1950	10	4
147		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1950	10	30
148		JEROME B.COHEN	SHOUP	JEROME B.COHEN	1950	11	9
149		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1950	11	11
150		JEROME B.COHEN	JEROME B.COHEN	SHOUP	1951	5	2
151	JAPAN-D,E,F,G	EDWARD W.DOHERTY	SHOUP	EDWARD W.DOHERTY	1950	3	7
152		EDWARD W.DOHERTY	EDWARD W.DOHERTY	SHOUP	1950	10	7
153		ROBERT S.FORD	SHOUP	ROBERT S.FORD	1952	10	13
154		MINORU FUJIMURA	MINORU FUJIMURA				
155		M.FUKAMIZU	M.FUKAMIZU	SHOUP	1949	7	22
156		SHUNGO FURUI	SHUNGO FURUI				
157		GAKUSHUIN COLLEGE	GAKUSHUIN COLLEGE		1950		
158		GOEKE	SHOUP	GOEKE	1950	3	24
159		CARTER GOODRICH	CARTER GOODRICH	SHOUP	1949	4	25
160		HIROSHI GOTO	HIROSHI GOTO	SHOUP	1951	11	25
161	JAPAN-DODGE	JOSEPH M.DODGE	SHOUP	JOSEPH M.DODGE	1949	10	18
162		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE	SHOUP	1949	10	21
163		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE		1950	1	25
164		JOSEPH M.DODGE	SHOUP	JOSEPH M.DODGE	1950	2	3
165		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE	SHOUP	1950	2	9
166		JOSEPH M.DODGE	SHOUP	JOSEPH M.DODGE	1950	2	13
167		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE	SHOUP	1950	4	24
168		JOSEPH M.DODGE	SHOUP	JOSEPH M.DODGE	1950	4	26
169		JOSEPH M.DODGE	W.W.DIEHL	JOSEPH M.DODGE	1950	4	27
170		JOSEPH M.DODGE	AUDLEY H.F.STEPHAN	JOSEPH M.DODGE	1950	5	23
171		JOSEPH M.DODGE	PAUL M.O' LEARY	JOSEPH M.DODGE	1950	5	25
172		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE	SHOUP	1950	5	25
173		JOSEPH M.DODGE	SHOUP	JOSEPH M.DODGE	1950	5	30
174		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE	SHOUP	1950	6	1
175		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE	SHOUP	1950	6	12
176		JOSEPH M.DODGE	SHOUP	JOSEPH M.DODGE	1950	6	20
177		JOSEPH M.DODGE	PAUL M.O'LEARY	JOSEPH M.DODGE	1950	6	23
178		JOSEPH M.DODGE	JOSEPH M.DODGE	PAUL M.O'LEARY	1950	7	5
179		JOSEPH M.DODGE	SHOUP	JOSEPH M.DODGE	1950	9	6
180	JAPAN-H	TOSHIO HAMAJIMA	TOSHIO HAMAJIMA				
181		KIKUTARO HARA	KIKUTARO HARA				
182		YASUSABURO HARA	YASUSABURO HARA				
183		THE HARVARD COLLEGE LIBRARY	THE HARVARD COLLEGE LIBRARY	SHOUP	1951	7	3
184		TEIZO HORIKOSHI	TEIZO HORIKOSHI				
185		YOSHIYASU HOSODA	YOSHIYASU HOSODA	SHOUP	1953	7	30
186		YOSHIYASU HOSODA	SHOUP	YOSHIYASU HOSODA	1953	8	12
187		GUNJI HOSONO	GUNJI HOSONO	SHOUP	1949	7	27
188		GUNJI HOSONO	GUNJI HOSONO	SHOUP	1949	12	13
189		GUNJI HOSONO	SHOUP	GUNJI HOSONO	1950	1	5
190		GUNJI HOSONO	GUNJI HOSONO	SHOUP	1951	1	23
191		GUNJI HOSONO	GUNJI HOSONO	SHOUP	1951	4	21
192		GUNJI HOSONO	GUNJI HOSONO	SHOUP	1953	3	24

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
193	JAPAN-H	GUNJI HOSONO	GUNJI HOSONO	SHOUP	1955	1	
194		WARREN HUNSBERGER	SHOUP	WARREN HUNSBERGER	1949	2	9
195	JAPAN-HARA.S	SUMIO HARA	SUMIO HARA	SHOUP	1949	9	28
196		SUMIO HARA	SHOUP	SUMIO HARA	1950	1	20
197		SUMIO HARA	SUMIO HARA	SHOUP	1950	4	15
198		SUMIO HARA	SHOUP	SUMIO HARA	1950	4	27
199		SUMIO HARA	SUMIO HARA	SHOUP	1951	3	20
200		SUMIO HARA	SHOUP	SUMIO HARA	1951	4	26
201		SUMIO HARA	SUMIO HARA	SHOUP	1951	5	21
202		SUMIO HARA	SUMIO HARA	SHOUP	1951	8	31
203		SUMIO HARA	SUMIO HARA	SHOUP	1951	12	4
204		SUMIO HARA	SHOUP	SUMIO HARA	1951	12	21
205		SUMIO HARA	SHOUP	SUMIO HARA	1956	8	7
206	JAPAN-HATFIELD	ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	ROIAND F.HATFIELD	1949	1	29
207		ROIAND F.HATFIELD	ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	1949	2	7
208		ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	ROIAND F.HATFIELD	1949	2	15
209		ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	ROIAND F.HATFIELD	1949	3	23
210		ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	ROIAND F.HATFIELD	1949	4	1
211		ROIAND F.HATFIELD	ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	1949	4	7
212		ROIAND F.HATFIELD	ROY G.BLAKEY	ROIAND F.HATFIELD	1949	4	29
213		ROIAND F.HATFIELD	ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	1949	6	17
214		ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	ROIAND F.HATFIELD	1950	1	3
215		ROIAND F.HATFIELD	ROIAND F.HATFIELD	SHOUP	1950	1	17
216	JAPAN-HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	WARREN	1951	4	6
217		KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	1951	4	6
218		KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	KEIICHIRO HIRATA	1951	4	24
219		KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	KEIICHIRO HIRATA	1951	4	26
220		KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	1951	7	25
221		KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	1951	10	12
222		KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	KEIICHIRO HIRATA	1951	12	11
223		KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	1952	4	30
224		KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	1952	5	23
225		KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	1952	11	15
226		KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	KEIICHIRO HIRATA	1952	12	15
227		KEIICHIRO HIRATA	KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	1953	1	22
228		KEIICHIRO HIRATA	SHOUP	KEIICHIRO HIRATA	1953	2	10
229	JAPAN-I	HISATO ICHIMADA	SHOUP	HISATO ICHIMADA	1951	4	26
230		HISATO ICHIMADA	HISATO ICHIMADA	SHOUP	1951	5	10
231		HISATO ICHIMADA	HISATO ICHIMADA	SHOUP	1951	5	28
232		HISATO ICHIMADA	HISATO ICHIMADA	SHOUP	1951	7	26
233		HISATO ICHIMADA	HISATO ICHIMADA	SHOUP	1951	8	8
234		HISATO ICHIMADA	SHOUP	HISATO ICHIMADA	1951	8	29
235		TAKASHI IHARA	TAKASHI IHARA	SHOUP	1951	8	16
236		TAKASHI IHARA	TAKASHI IHARA	SHOUP	1954	10	11
237		MINESATO IKEBATA	MINESATO IKEBATA	SHOUP	1951	11	20
238		HANYA ITO	HANYA ITO	SHOUP	1950	10	3
239		HANYA ITO	HANYA ITO	SHOUP	1951	6	14
240		HANYA ITO	HANYA ITO	SHOUP	1951	7	21
241		HANYA ITO	HANYA ITO	SHOUP	1951	8	9
242		HANYA ITO	JOHN SPAULDING	SHOUP	1952	9	24
243		HANYA ITO	SHOUP	JOHN SPAULDING	1952	9	29
244		ICHIRO ISHIKAWA	ICHIRO ISHIKAWA	SHOUP	1951	4	7
245		ICHIRO ISHIKAWA	ICHIRO ISHIKAWA	SHOUP	1951	4	24
246		ICHIRO ISHIKAWA	ICHIRO ISHIKAWA	SHOUP	1953	7	28
247	JAPAN-IKEDA	HAYATO IKEDA	HAYATO IKEDA	SHOUP	1950	3	13
248		HAYATO IKEDA	HAYATO IKEDA	SHOUP	1950	6	5
249		HAYATO IKEDA	SHOUP	HAYATO IKEDA	1951	4	26
250		HAYATO IKEDA	HAYATO IKEDA	SHOUP	1951	5	21
251	JAPAN-J	JAPAN SOCIETY, INC.	SHOUP	JAPAN SOCIETY, INC.	1952	6	2
252		JAPAN TAX ASSOCIATION	JAPAN TAX ASSOCIATION	SHOUP	1950		
253		BYRON L.JOHNSON	SHOUP	BYRON L.JOHNSON	1949	3	2
254		BYRON L.JOHNSON	BYRON L.JOHNSON	SHOUP	1949	3	6
255		COLONEL HOWARD P.JONES	SHOUP	COLONEL HOWARD P.JONES	1949	4	14
256		COLONEL HOWARD P.JONES	SHOUP	COLONEL HOWARD P.JONES	1949	5	20

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
257	JAPAN-K,L	KENICHI KAKINAGA	KENICHI KAKINAGA	SHOUP	1949	4	8
258		VERNON P.BROWN	VERNON P.BROWN	SHOUP			
259		YOSIRO KIMIZUKA	YOSIRO KIMIZUKA	SHOUP		7	6
260		YOSIRO KIMIZUKA	YOSIRO KIMIZUKA	SHOUP	1951	3	10
261		YOSIRO KIMIZUKA	VERNON P.BROWN	SHOUP	1951	3	17
262		YOSIRO KIMIZUKA	SHOUP	YOSIRO KIMIZUKA	1951	3	28
263		YOSIRO KIMIZUKA	YOSIRO KIMIZUKA	SHOUP	1951	4	11
264		YOSIRO KIMIZUKA	YOSIRO KIMIZUKA	SHOUP	1951	6	22
265		YOSIRO KIMIZUKA	YOSIRO KIMIZUKA	SHOUP	1952	1	29
266		YOSIRO KIMIZUKA	YOSIRO KIMIZUKA	SHOUP	1952	4	23
267		KAZUO KATO	KAZUO KATO		1951	10	22
268		MASAO KAMBE	SHOUP	MASAO KAMBE	1950	4	19
269		MASAO KAMBE	MASAO KAMBE	SHOUP	1951	2	7
270		MASAO KAMBE	SHOUP	MASAO KAMBE	1951	3	13
271		MASAO KAMBE	SHOUP	MASAO KAMBE	1951	4	26
272		MOTOKAZU KIMURA	MOTOKAZU KIMURA	SHOUP	1955	3	3
273		MOTOKAZU KIMURA	SHOUP	MOTOKAZU KIMURA	1955	3	11
274		MOTOKAZU KIMURA	MOTOKAZU KIMURA	SHOUP	1955	5	17
275		KINNOSUKE KISHIMOTO	KINNOSUKE KISHIMOTO	SHOUP	1952	8	8
276		KINNOSUKE KISHIMOTO	KINNOSUKE KISHIMOTO	SHOUP	1953	2	20
277		KINNOSUKE KISHIMOTO	KINNOSUKE KISHIMOTO	SHOUP	1954	6	11
278		K. KITANO	K. KITANO	SHOUP	1949	7	20
279		K. KITANO	SHOUP	K. KITANO	1949	7	27
280		TAKESHIRO KODERA	TAKESHIRO KODERA	SHOUP	1953	11	4
281		MICHITAKA KONDO	MICHITAKA KONDO		1951	10	29
282		GEO. J. KORENAGA	GEO. J. KORENAGA	SHOUP	1950	7	25
283		SHINICHIRO KUDO	SHINICHIRO KUDO	SHOUP	1950	9	21
284		HENRY LUDMER	HENRY LUDMER	SHOUP	1952	5	7
285		HENRY LUDMER	SHOUP	HENRY LUDMER	1952	5	15
286	JAPAN-M	CHOEI MADAMBASHI	CHOEI MADAMBASHI				
287		TARAO MAEDA	TARAO MAEDA	SHOUP	1952	6	4
288		SHIGESABURO MAEO	SHIGESABURO MAEO		1951	10	29
289		MAINICHI OVERSEAS EDITION	PAUL BROOKS	SHOUP	1953	5	22
290		MAINICHI OVERSEAS EDITION	SHOUP	MAINICHI OVERSEAS EDITION	1953	6	2
291		MAINICHI PRESS (CHIKAO HONDA)	CHIKAO HONDA	SHOUP	1951	5	30
292		MAINICHI PRESS (CHIKAO HONDA)	SHOUP	CHIKAO HONDA	1951	6	27
293		HARRY L.MANGERICH	HARRY L.MANGERICH	SHOUP	1950	4	28
294		HARRY L.MANGERICH	SHOUP	HARRY L.MANGERICH	1950	5	12
295		FRITZ KARL MANN	FRITZ KARL MANN	JOHN D.MOTZ	1948	12	15
296		WILLIAM F.MARQUAT	HAROLD MOSS	WILLIAM F.MARQUAT	1949	8	20
297		WILLIAM F.MARQUAT	SHOUP	WILLIAM F.MARQUAT	1949	8	27
298		WILLIAM F.MARQUAT	SHOUP	WILLIAM F.MARQUAT	1950	1	19
299		WILLIAM F.MARQUAT	WILLIAM F.MARQUAT	JOSEPH M.DODGE	1950	6	4
300		WILLIAM F.MARQUAT	SHOUP	WILLIAM F.MARQUAT	1950	6	7
301		WILLIAM F.MARQUAT	SHOUP	WILLIAM F.MARQUAT	1950	10	6
302		J.RUPERT MASON	SHOUP	J.RUPERT MASON	1950	11	22
303		SHIGEO MATSUMOTO	SHIGEO MATSUMOTO				
304		SHIGEO MATSUMOTO	SHIGEO MATSUMOTO	SHOUP	1951	3	8
305		SHIGEO MATSUMOTO	SHIGEO MATSUMOTO	SHOUP	1952	2	11
306		SHIGEO MATSUMOTO	SHIGEO MATSUMOTO	SHOUP	1952	11	3
307		SHUTARO MATSUSHITA	SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	1950	3	7
308		SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	SHUTARO MATSUSHITA	1950	4	11
309		SHUTARO MATSUSHITA	SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	1950	10	22
310		SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	SHUTARO MATSUSHITA	1950	12	13
311		SHUTARO MATSUSHITA	SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	1953	2	20
312		SHUTARO MATSUSHITA	SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	1954	9	21
313		SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	SHUTARO MATSUSHITA	1954	9	27
314		SHUTARO MATSUSHITA	SHOUP	SHUTARO MATSUSHITA	1954	10	5
315		ORVILLE J.McDIARMID	WILLIAM S.SWINGLE	WILLARD L.THORP	1949	8	5
316		ORVILLE J.McDIARMID	ORVILLE J.McDIARMID	SHOUP	1949	8	22
317		ORVILLE J.McDIARMID	SHOUP	ORVILLE J.McDIARMID	1950	2	14
318		ORVILLE J.McDIARMID	ORVILLE J.McDIARMID	SHOUP	1950	2	20
319		T.MIYAJIMA	T.MIYAJIMA	SHOUP	1949	7	25
320		T.MIYAJIMA	SHOUP	T.MIYAJIMA	1949	8	11

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
321	JAPAN-M	T.MIYAJIMA	T.MIYAJIMA	SHOUP	1949	8	16
322		T.MIYAJIMA	T.MIYAJIMA	SHOUP	1950	1	14
323		T.MIYAJIMA	SHOUP	T.MIYAJIMA	1950	3	10
324		T.MIYAJIMA	T.MIYAJIMA	SHOUP	1950	3	23
325		TYOTARO MIZOUE	TYOTARO MIZOUE	SHOUP	1950	1	3
326		TYOTARO MIZOUE	TYOTARO MIZOUE	SHOUP	1950	1	6
327		TYOTARO MIZOUE	SHOUP	TYOTARO MIZOUE	1950	1	20
328		TYOTARO MIZOUE	SHOUP	TYOTARO MIZOUE	1950	2	15
329		MONROE	SHOUP	MONROE	1950	9	19
330		ALFRED D.MORGAN	ALFRED D.MORGAN	SHOUP	1948	11	22
331		ALFRED D.MORGAN	SHOUP	ALFRED D.MORGAN	1948	11	26
332		ALFRED D.MORGAN	ALVIN H.HANSEN	SHOUP	1948	12	1
333		ALFRED D.MORGAN	GERHARD COLM	SHOUP	1948	12	2
334		ALFRED D.MORGAN	ALFRED D.MORGAN	SHOUP	1948	12	3
335		ALFRED D.MORGAN	SHOUP	ALFRED D.MORGAN	1949	2	17
336		PAUL R.MORT	PAUL R.MORT	SHOUP	1951	7	12
337		PAUL R.MORT	SHOUP	PAUL R.MORT	1951	7	27
338		GEN MURASE	SHOUP	GEN MURASE	1950	1	30
339		GEN MURASE	GEN MURASE	SHOUP	1951	8	29
340		GEN MURASE	SHOUP	GEN MURASE	1951	11	19
341		GEN MURASE	GEN MURASE	SHOUP	1951	12	11
342		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA	SHOUP	1950	12	30
343		MICHIO MURAYAMA	SHOUP	MICHIO MURAYAMA	1951	1	18
344		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA	SHOUP	1952	8	23
345		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA	SHOUP	1952	9	30
346		MICHIO MURAYAMA	SHOUP	MICHIO MURAYAMA	1952	11	10
347		MICHIO MURAYAMA	SHOUP	MICHIO MURAYAMA	1952	11	13
348		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA	SHOUP	1953	2	24
349		MICHIO MURAYAMA	SHOUP	MICHIO MURAYAMA	1954	9	27
350		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA	SHOUP	1955	4	20
351		MICHIO MURAYAMA	SHOUP	MICHIO MURAYAMA	1955	5	11
352		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA		1956	2	1
353		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA	SHOUP	1956	2	20
354		MICHIO MURAYAMA	SHOUP	MICHIO MURAYAMA	1956	2	27
355		MICHIO MURAYAMA	MICHIO MURAYAMA	SHOUP	1956	4	14
356	JAPAN-MACARTHUR	DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP TAXATION MISSION	DOUGLAS MACARTHUR	1949	6	7
357		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	DOUGLAS MACARTHUR	1949	7	29
358		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	DOUGLAS MACARTHUR	1949	8	12
359		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	DOUGLAS MACARTHUR	1949	8	20
360		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	DOUGLAS MACARTHUR	1949	8	20
361		DOUGLAS MACARTHUR	SCAP TOKYO JAPAN	DA WASH DC	1949	8	27
362		DOUGLAS MACARTHUR	SCAP TOKYO JAPAN SGD MacArthur	DEPARTMENT OF ARMY	1949	8	28
363		DOUGLAS MACARTHUR	LAURENCE E.BUNKER	SHOUP	1949	8	28
364		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	LAURENCE E.BUNKER	1949	10	29
365		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	DOUGLAS MACARTHUR	1949	10	29
366		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	DOUGLAS MACARTHUR	1950	6	2
367		DOUGLAS MACARTHUR	SHOUP	DOUGLAS MACARTHUR	1951	4	12
368	JAPAN-MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1948	9	30
369		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1948	12	4
370		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1948	12	23
371		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1948	12	30
372		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	1	4
373		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	1	6
374		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	1	15
375		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	2	1
376		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	2	3
377		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	2	9
378		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	2	16
379		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	2	19
380		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	2	19
381		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	2	24
382		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	3	3
383		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	3	7
384		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	4	5

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
385	JAPAN-MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	4	14
386		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	4	23
387		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	5	2
388		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	9	7
389		HAROLD MOSS	SCAP ESS	SHOUP	1949	9	20
390		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	9	27
391		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	9	28
392		HAROLD MOSS	OSCAR KOHORN & CO.,LTD.	SHOUP	1949	9	22
393		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	OSCAR KOHORN & CO.,LTD.	1949	10	6
394		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	10	13
395		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	10	24
396		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	11	1
397		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	11	4
398		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	11	17
399		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	11	22
400		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	11	23
401		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	11	28
402		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	WILLIAM F.MARQUAT	1949	11	29
403		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	11	30
404		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	12	8
405		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	12	14
406		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	12	15
407		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	12	22
408		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1949	12	23
409		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1949	12	28
410		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	1	10
411		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	1	19
412		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	1	20
413		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	1	20
414		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	1	28
415		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	2	1
416		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	2	7
417		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	2	17
418		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	2	21
419		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	2	21
420		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	3	15
421		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	4	14
422		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	5	4
423		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP			
424		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	5	5
425		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	5	9
426		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	5	11
427		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	5	11
428		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP			
429		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	6	1
430		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	6	5
431		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	6	13
432		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	6	15
433		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	6	30
434		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	7	3
435		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	7	13
436		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	7	21
437		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	8	6
438		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	11	1
439		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	11	14
440		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	11	16
441		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	11	30
442		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1950	12	13
443		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1950	12	20
444		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1951	1	9
445		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1951	2	2
446		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1951	2	19
447		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1951	2	21
448		HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1951	3	9

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
449	JAPAN-MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	HAROLD MOSS	1951	3	26
450		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1951	3	28
451		HAROLD MOSS	ROBERT A.BIEBER	SHOUP	1951	4	3
452		HAROLD MOSS	HAROLD MOSS	SHOUP	1951	8	3
453	JAPAN-N,O	KIYOSHI NAGATA	KIYOSHI NAGATA	SHOUP	1949	7	30
454		KIYOSHI NAGATA	KIYOSHI NAGATA	SHOUP	1950	6	12
455		KIYOSHI NAGATA	SHOUP		1950	9	20
456		KIYOSHI NAGATA	KIYOSHI NAGATA	SHOUP	1951	3	6
457		KIYOSHI NAGATA	SHOUP	KIYOSHI NAGATA	1951	3	13
458		KIYOSHI NAGATA	NIPPON RUBBER CO.,LTD.		1951	6	1
459		KIYOSHI NAGATA	SHOUP	KIYOSHI NAGATA	1951	6	22
460		KIYOSHI NAGATA	SHOUP	KIYOSHI NAGATA	1951	7	24
461		KIYOSHI NAGATA	KIYOSHI NAGATA				
462		TORU NAKAGAWA	TORU NAKAGAWA	SHOUP	1950	7	12
463		B.NAKAHASHI	B.NAKAHASHI	SHOUP	1950	1	24
464		B.NAKAHASHI	SHOUP	B.NAKAHASHI	1950	3	24
465		K.NAKAMURA	K.NAKAMURA				
466		MAKOTO NAKAO	MAKOTO NAKAO				
467		ICHIRO NAKAYAMA	ICHIRO NAKAYAMA	SHOUP	1950	1	12
468		NAMBA			1952	2	5
469		GENZABURO NATSUBORI	GENZABURO NATSUBORI	SHOUP	1950	9	6
470		GENZABURO NATSUBORI	SHOUP	GENZABURO NATSUBORI	1950	9	19
471		HIDEO NOMURA	SHOUP	HIDEO NOMURA	1950	9	21
472		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA	SHOUP	1951	2	27
473		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA	SHOUP	1951	4	
474		HIDEO NOMURA	SHOUP	HIDEO NOMURA	1951	4	26
475		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA	SHOUP	1951	6	7
476		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA	SHOUP	1951	6	22
477		HIDEO NOMURA	SHOUP	HIDEO NOMURA	1951	7	25
478		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA		1952	6	5
479		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA	SHOUP	1952	7	21
480		HIDEO NOMURA	SHOUP	HIDEO NOMURA	1952	8	26
481		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA	SHOUP	1952	12	
482		HIDEO NOMURA	HIDEO NOMURA	SHOUP	1953	2	18
483		HIDEO NOMURA	SHOUP	HIDEO NOMURA	1953	3	6
484		HIDEO NOMURA	SHOUP	HIDEO NOMURA	1955	12	22
485		MANSAKU NOMURA	MANSAKU NOMURA				
486		CHUNI OGASHIWA	CHUNI OGASHIWA	SHOUP	1950	5	12
487		TARO OGAWA	TARO OGAWA				
488		TAMOTSU OGITA	TAMOTSU OGITA	SHOUP	1951	4	3
489		TAMOTSU OGITA	SHOUP	TAMOTSU OGITA	1951	4	10
490		TAMOTSU OGITA	SHOUP	TAMOTSU OGITA	1951	4	26
491		TAMOTSU OGITA	TAMOTSU OGITA	SHOUP	1951	5	3
492		TAMOTSU OGITA	TAMOTSU OGITA	SHOUP	1951	7	17
493		TAMOTSU OGITA	TAMOTSU OGITA	SHOUP	1951	8	30
494		TAMOTSU OGITA	TAMOTSU OGITA	SHOUP	1952	3	29
495		TAMOTSU OGITA	SHOUP	TAMOTSU OGITA	1952	5	16
496		TAMOTSU OGITA	SHOUP	TAMOTSU OGITA	1953	3	2
497		BUNSHICHI OHATA	BUNSHICHI OHATA				
498		MASAYOSHI OHIRA	MASAYOSHI OHIRA				
499		KINJIRO OHKI	ROBERT M.HAIG	SHOUP	1949	1	10
500		S.OHTA	S.OHTA	SHOUP	1950	4	3
501		KIYOHIDE OKANO	KIYOHIDE OKANO	SHOUP	1951	9	14
502		KIYOHIDE OKANO	KIYOHIDE OKANO	SHOUP	1951	10	24
503		SHIGEO OKANO	SHOUP	SHIGEO OKANO	1951	4	26
504		HIKOSABURO OKAYASU	HIKOSABURO OKAYASU				
505		PAUL M.O'LEARY	SHOUP	PAUL M.O'LEARY	1950	6	6
506	JAPAN-P,Q,R	PICKERING	SHOUP	PICKERING	1949	6	6
507		FLORENCE POWDERMAKER	SHOUP	FLORENCE POWDERMAKER	1949	4	18
508		R.W.E.REID	SHOUP	R.W.E.REID	1950	3	8
509		THE ROCKEFELLER FOUNDATION	CHARLES B.FAHS	SHOUP	1950	11	13
510		E.A.RUTH	E.A.RUTH	SHOUP	1951	9	6
511	JAPAN-S	MICHIKAZU SAIGO	MICHIKAZU SAIGO	SHOUP	1951	7	20
512		PAUL SANDERS	THE NIHON KEIZAI SHIMBUN	SHOUP	1949	11	30

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
513	JAPAN-S	PAUL SANDERS	PAUL SANDERS	SHOUP	1949	12	21
514		PAUL SANDERS	SHOUP	PAUL SANDERS	1950	1	5
515		KENNETH SANOW	SHOUP	KENNETH SANOW	1950	2	15
516		KENNETH SANOW	KENNETH SANOW		1950	7	31
517		KENNETH SANOW	SHOUP	KENNETH SANOW	1951	5	21
518		KENNETH SANOW	KENNETH SANOW	SHOUP	1951	6	1
519		KENNETH SANOW	KENNETH SANOW	DODGE	1951	7	17
520		KENNETH SANOW	R.W.E.REID	SHOUP	1951	7	27
521		KENNETH SANOW	SHOUP	KENNETH SANOW	1951	8	13
522		KENNETH SANOW	KENNETH SANOW	SHOUP			
523		KENNETH SANOW	KENNETH SANOW	SHOUP			
524		KENNETH SANOW	SHOUP	KENNETH SANOW	1952	2	20
525		KICHIRO SASAKI	KICHIRO SASAKI		1951	10	22
526		HUBERT G.SCHENCK	HUBERT G.SCHENCK	SHOUP	1949	5	27
527		HUBERT G.SCHENCK	HUBERT G.SCHENCK	SHOUP	1949	6	6
528		HUBERT G.SCHENCK	HUBERT G.SCHENCK	SHOUP	1949	6	7
529		HUBERT G.SCHENCK	SHOUP	HUBERT G.SCHENCK	1949	6	8
530		WILLIAM R.SEARS	WILLIAM R.SEARS	SHOUP	1950	2	8
531		WILLIAM R.SEARS	SHOUP	WILLIAM R.SEARS	1950	3	30
532		WILLIAM R.SEARS	WILLIAM R.SEARSSHOUP	SHOUP	1950	12	8
533		WILLIAM R.SEARS	SHOUP	WILLIAM R.SEARS	1950	12	22
534		TOKUE SHIBATA	TOKUE SHIBATA		1951	9	22
535		SOICHI SHIBUE	SOICHI SHIBUE	SHOUP	1951	4	23
536		KIYOMI SHINAGAWA	KIYOMI SHINAGAWA				
537		TOSHIROU SHIMANOUCI	TOSHIROU SHIMANOUCI				
538		ARTHUR T.SIMMONS	ARTHUR T.SIMMONS	SHOUP	1951	6	12
539		ARTHUR T.SIMMONS	SHOUP	ARTHUR T.SIMMONS	1951	6	21
540		ARTHUR T.SIMMONS	ARTHUR T.SIMMONS	SHOUP	1951	10	28
541		SHINICHIRO SHIMOJYO	SHINICHIRO SHIMOJYO				
542		M.SMITH	M.SMITH	SHOUP	1949	8	8
543		AUDLEY H.F.STEPHAN	SHOUP	AUDLEY H.F.STEPHAN	1950	6	6
544		ARTHUR STUART	SHOUP	ARTHUR STUART	1950	3	8
545		CHIGORO SUGIYAMA	CHIGORO SUGIYAMA				
546		GENGO SUZUKI	GENGO SUZUKI				
547		FUMI SUZUKI	FUMI SUZUKI				
548		SHUNICHI SUZUKI	SHUNICHI SUZUKI				
549	JAPAN-SHAVELL	HENRY SHAVELL	HENRY SHAVELL		1948	4	
550		HENRY SHAVELL	HENRY SHAVELL	WILLIAM S.VICKREY	1950	1	6
551		HENRY SHAVELL	SHOUP	HENRY SHAVELL	1950	4	29
552		HENRY SHAVELL	HENRY SHAVELL	SHOUP	1950	5	2
553		HENRY SHAVELL	HENRY SHAVELL	SHOUP	1950	5	9
554		HENRY SHAVELL	SHOUP	HENRY SHAVELL	1950	5	11
555		HENRY SHAVELL	HENRY SHAVELL	SHOUP	1950	5	23
556		HENRY SHAVELL	HENRY SHAVELL	SHOUP	1950	6	3
557		HENRY SHAVELL	SHOUP	HENRY SHAVELL	1950	6	7
558		HENRY SHAVELL	SHOUP	HENRY SHAVELL	1950	6	12
559		HENRY SHAVELL	HENRY SHAVELL	SHOUP	1950	6	14
560	JAPAN-SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	STANLEY S.SURREY	1949	2	28
561		STANLEY S.SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	1949	3	2
562		STANLEY S.SURREY	SHOUP	STANLEY S.SURREY	1949	3	4
563		STANLEY S.SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	1949	8	19
564		STANLEY S.SURREY	SHOUP	STANLEY S.SURREY	1949	8	24
565		STANLEY S.SURREY	SHOUP	STANLEY S.SURREY	1950	1	3
566		STANLEY S.SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	1950	1	10
567		STANLEY S.SURREY	SHOUP	STANLEY S.SURREY	1950	1	20
568		STANLEY S.SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	1950	1	28
569		STANLEY S.SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	1950	2	10
570		STANLEY S.SURREY	SHOUP	STANLEY S.SURREY	1950	4	6
571		STANLEY S.SURREY	SHOUP	STANLEY S.SURREY	1950	9	28
572		STANLEY S.SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	1950	11	6
573		STANLEY S.SURREY	STANLEY S.SURREY	SHOUP	1951	8	10
574	JAPAN-T,U,V	MAMORU TAKAHASHI	SHOUP	MAMORU TAKAHASHI	1951	4	26
575		MAMORU TAKAHASHI	MAMORU TAKAHASHI	SHOUP	1951	5	18
576		MAMORU TAKAHASHI	MAMORU TAKAHASHI	SHOUP	1952	11	12

No.	Index Name	Personal File	From	To	Y	M	D
577	JAPAN-T,U,V	TAKESHI TAKAHASHI	TAKESHI TAKAHASHI				
578		JIRO TAKASE	JIRO TAKASE	SHOUP	1955	1	20
579		TATSURO TAKEMURA	TATSURO TAKEMURA	SHOUP	1949	7	11
580		KAZUO TAKESHITA	KAZUO TAKESHITA	SHOUP	1953	12	18
581		KINJI TAMURA	KINJI TAMURA	SHOUP	1949	7	13
582		M.TANAKA	M.TANAKA	SHOUP	1954	5	28
583		M.TANAKA	SHOUP	M.TANAKA	1954	11	16
584		SHIGETADA TASAKA	SHIGETADA TASAKA	SHOUP			
585		HANAMA TASAKI	HANAMA TASAKI	SHOUP	1950	9	10
586		HANAMA TASAKI	SHOUP	HANAMA TASAKI	1952	11	18
587		SAKUO TERANAKA	SAKUO TERANAKA	SHOUP	1951	5	21
588		RISABURO TORIKAI	RISABURO TORIKAI	SHOUP	1950	8	30
589		IWAO TOTSUKA	IWAO TOTSUKA	SHOUP	1949	9	28
590		IWAO TOTSUKA	SHOUP	IWAO TOTSUKA	1949	10	28
591		PAYSON J.TREAT	PAYSON J.TREAT	SHOUP	1950	10	21
592		PAYSON J.TREAT	SHOUP	PAYSON J.TREAT	1950	11	3
593		M.TSUDA	SHOUP	M.TSUDA	1950	2	8
594		KATSUZO TSUJI	KATSUZO TSUJI	SHOUP	1952	6	14
595		SHIGETO TSURU	SHOUP	SHIGETO TSURU	1951	2	28
596		SHIGETO TSURU	SHOUP	SHIGETO TSURU	1951	6	14
597		SHIGETO TSURU	SHIGETO TSURU	SHOUP	1951	8	2
598		SHIGETO TSURU	SHINJI HOSOYA	SHOUP	1951	10	1
599		SHIGETO TSURU	SHIGETO TSURU	SHOUP	1951	12	31
600		SHIGETO TSURU	SHOUP	SHIGETO TSURU	1952	1	18
601		T.TSURUZAWA	T.TSURUZAWA	SHOUP	1949	8	19
602		SOMEI F.UZAWA	SOMEI F.UZAWA	SHOUP			
603		WILLIAM VICKREY	WILLIAM VICKREY				
604	JAPAN-W,X,Y,Z	GEORGE A.WARP	GEORGE A.WARP	SHOUP	1951	8	14
605		WILLIAM C.WARREN	SHOUP	WILLIAM C.WARREN	1950	6	10
606		TAKESHI WATANABE	TAKESHI WATANABE	SHOUP	1950	4	28
607		TAKESHI WATANABE	SHOUP	TAKESHI WATANABE	1951	6	22
608		TAKESHI WATANABE	TAKESHI WATANABE	SHOUP	1951	7	16
609		TAKESHI WATANABE	SHOUP	TAKESHI WATANABE	1951	8	2
610		JAMES R.WATSON	JAMES R.WATSON	SHOUP	1949	3	25
611		MELVIN I.WHITE	MELVIN I.WHITE	SHOUP	1949	6	28
612		MELVIN I.WHITE	SHOUP	MELVIN I.WHITE	1949	7	8
613		ROBERT WILLIS	SHOUP	ROBERT WILLIS	1949	4	14
614		WOYENO	WOYENO				
615		WOYENO	SHOUP	C.M.GEORGE	1949	7	1
616		WU	WU	SHOUP	1949	7	29
617		ISAMU YAMADA	ISAMU YAMADA	SHOUP	1951	5	8
618		SEIICHI YAMADA	SEIICHI YAMADA				
619		SEIICHI YAMADA	HISATO ICHIMADA	SHOUP	1950	2	4
620		TADAO YAMAGUCHI	TADAO YAMAGUCHI		1955	4	15
621		TADAO YAMAGUCHI	RAIZABURO HAYASHI		1955	4	15
622		TADAO YAMAGUCHI	NAMIKO HAMANO	SHOUP	1955	6	24
623		TOSHIO YAMAMOTO					
624		HIROSHI YOSHISE	HIROSHI YOSHISE				
625		RALPH A.YOUNG	RALPH A.YOUNG		1948	6	12
626	JAPAN-YOSHIDA	SHIGERU YOSHIDA	SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	1950	4	19
627		SHIGERU YOSHIDA	SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	1950	5	24
628		SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	SHIGERU YOSHIDA	1950	5	26
629		SHIGERU YOSHIDA	ATSUSHI UYAMA	SHOUP	1950	5	16
630		SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	SHIGERU YOSHIDA	1950	6	26
631		SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	ATSUSHI UYAMA	1950	6	26
632		SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	SHIGERU YOSHIDA	1950	8	8
633		SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	SHIGERU YOSHIDA	1951	4	27
634		SHIGERU YOSHIDA	SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	1954	11	25
635		SHIGERU YOSHIDA	SHOUP	SHIGERU YOSHIDA	1959	6	1